

三菱電機

インターネット情報提供サービス

[業務用]

商品名

MELく～るLINK

取扱説明書

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること	2
1. ご使用前に	5
1-1. 本サービスについて	5
1-1-1. サービス全般のご利用にあたっての お知らせとお願い	5
1-1-2. R32冷媒を使用した空調機器で 本サービスをご利用いただくに あたってのお知らせとお願い	6
1-2. システム構成	7
1-3. 制約	8
1-3-1. 共通	8
1-3-2. AE-CZJあるいはEW-CZJを 使用する場合	8
1-3-3. MCC-50Jを使用する場合	9
1-4. 関連資料	10
2. 使用方法	11
2-1. 機能	11
2-2. サービス対象機種	11
2-3. ログイン/ログアウト	12
2-4. 冷媒漏えい診断結果の確認	16
2-4-1. 物件選択 冷媒漏えいの診断	16
2-4-2. 「冷媒漏えいの診断」画面の説明	17
2-5. 異常履歴の確認	22
2-5-1. 「異常履歴」画面の説明	22
2-6. 運転データの確認	24
2-6-1. 「物件選択-運転データ確認」画面の 説明	24
2-7. 号機情報の確認	26
2-7-1. 「号機情報」画面の説明	26
2-8. 安全装置回路点検サポート機能の実施	28
2-8-1. 「安全装置回路点検サポート」画面の 説明	30
2-9. 機器名リスト	48
2-10. その他	49
3. 定期点検	57
4. 仕様	58
5. 修理を依頼する前に	59
6. 法令関係の表示	61
6-1. 関連ガイドラインについて	61
6-2. 商標、登録商標について	61
7. 保証とアフターサービス	62
7-1. 本サービスの提供	62
7-2. お問い合わせ	62

安全のために必ず守ること（対象：微燃性冷媒使用時）

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



（一般禁止）



（火気禁止）



（一般指示）

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項



警告

以下の場所にコントローラを設置しない。

- ◆心臓ペースメーカー装着者が使用する可能性がある場所
- ◆医療用電気機器が近くにある場所
- ◆自動ドアや火災報知機などの自動制御機器が近くにある場所



禁止

- ◆上記機器の動作に影響を与える事故の原因になります。
- ◆設置する場合は、コントローラの電波放射を停止してください。

火気を近づけない。

- ◆冷媒が火気に触れると、有毒ガス発生・引火・火災の原因になります。



火気禁止

換気をする。

- ◆冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。
- ◆冷媒が火気に触れると、有毒ガス発生・引火・火災の原因になります。



換気を実行

ガス漏れ検知器が反応した場合、直ちに燃焼器具の使用を止め、換気する。

- ◆冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。
- ◆冷媒が火気に触れると、有毒ガス発生・引火・火災の原因になります。
- ◆機器の管理者・お買上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡してください。



指示を実行

システム冷媒量、設置空間、居室空間の容積や据付位置に応じて、以下の安全装置を設置する。

- ◆ガス漏れ検知器
- ◆警報装置
- ◆安全遮断弁
- ◆機械換気装置



指示を実行

- ◆冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。
- ◆冷媒が火気に触れると、有毒ガス発生・引火・火災の原因になります。

冷媒が漏れた場合は以下を実施する。

- ◆ 漏れ箇所を発見し、修理する。
- ◆ 修理後、冷媒を充てんし、漏れがないことを確認する。
- ◆ 漏れ箇所が発見できないときは修理を中断し、冷媒を回収する。



指示を
実行

- ◆ 冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。
- ◆ 冷媒が火気に触れると、有毒ガス発生・引火・火災の原因になります。

定期的に安全装置の点検をする。

- ◆ 不備があると、冷媒漏れ時に酸素欠乏・有毒ガス発生・引火・火災の原因になります。



指示を
実行

以下の安全装置を5年毎に交換する。

- ◆ ガス漏れ検知器（空調機器搭載の冷媒センサー）
- ◆ 警報装置



指示を
実行

- ◆ 交換せずに使用すると、警報装置が作動しない可能性があります。
- ◆ 冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。
- ◆ 冷媒が火気に触れると、有毒ガス発生・引火・火災の原因になります。

安全のために必ず守ること（対象：不燃性冷媒使用時）

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



（一般禁止）



（一般指示）

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項



警告

以下の場所にコントローラを設置しない。

- ◆心臓ペースメーカー装着者が使用する可能性がある場所
- ◆医療用電気機器が近くにある場所
- ◆自動ドアや火災報知機などの自動制御機器が近くにある場所



禁止

- ◆上記機器の動作に影響を与える事故の原因になります。
- ◆設置する場合は、コントローラの電波放射を停止してください。

換気をする。

- ◆冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。
- ◆冷媒が火気に触れると、有毒ガス発生の原因になります。



換気を実行

1. ご使用の前に

1-1. 本サービスについて

1-1-1. サービス全般のご利用にあたってのお知らせとお願い

- ・本サービスの冷媒漏えい診断では、フロン排出抑制法で定められた「常時監視システムを用いた遠隔監視による簡易点検」を行う場合^{*1}に、冷媒漏えい診断^{*3}と点検結果^{*5}の確認を行うことができます。法令で定められた「点検記録簿の作成・保管」を行う際に、簡易点検についての記録は、常時監視システムの点検結果を基に、別途お客様で記入していただく必要があります。

 - ※1 令和4年経済産業省・環境省告示第九号により、常時監視システムのうち要件^{*2}に適合するものを用い、遠隔監視で検査(簡易点検)に代えることが可能となりました。
 - ※2 本サービスは、要件で指定された日本冷凍空調工業会ガイドライン(JRA GL-17:2021)[2021年(令和3年)5月24日制定版]を満足しています。
 - ※3 診断により漏えいを確認した場合には、専門点検^{*4}を行ってください。冷媒漏えいの対応方法は「1-4. 関連資料[1](10ページ)」に記載している冷媒漏えい時のフローチャートも参照してください。
 - ※4 フロン排出抑制法に定められた「十分な知見を有する者」が直接法(発泡液塗布、冷媒漏えい検知器、蛍光剤、窒素ガス充填などにより冷媒漏えいを確認する方法)または間接法(蒸発器圧力、圧縮機駆動電圧および電流などの計測結果から冷媒漏えいを確認する方法)により実施する点検。点検内容、方法の詳細、十分な知見を有する者の要件は、環境省などの官公庁が提供するフロン排出抑制法資料をご確認ください。
 - ※5 MELく～るLINKの利用を終了する場合は、ユーザー情報削除の前に必要なデータの出力をしてください。
- ・本サービスの冷媒漏えい診断は、JRA GL-17:2021[2021年(令和3年)5月24日制定版]((一社)日本冷凍空調工業会作成ガイドライン)で規定されている「定格(冷房、冷却、冷凍、除湿)の温度条件」で漏えい検知性能を確認し、フロン排出抑制法で定められている「常時監視システムを用いた遠隔監視により簡易点検を行う場合の機器の要件」に適合した機能を有しています。機器の特性上、JRA GL-17:2021で規定された試験条件以外では、診断の性能が低下する場合があります。特に、停止状態が長期継続する場合には、機器点検の実施を検討してください。
- ・本サービスの冷媒漏えい診断機能は、対象空調機器において冷媒漏えいまたは冷媒漏えいの疑いがあることを診断し、その診断結果を提供する機能であり、実際に冷媒漏えいが発生したことによりお客様に損害が生じたとしてもその責任を負わないものとします。
- ・次の条件のいずれかに該当する場合は、正常にサービスを提供できない場合があります。

 - 1) 停電、機器の故障などにより対象空調機器の運転データを正常に取得できなかった場合。
 - 2) 本サービス(運転データ取得、診断結果の表示や通知など)に使用するネットワークや電気通信設備に障害、負荷集中などの異常が発生した場合。
 - 3) 空調機器施工時に封入すべき冷媒量に関して、当社が定める冷媒量を封入していない場合、正常に冷媒漏えいの診断ができない場合があります。
 - 4) 空調機器が故障などにより正常に運転していない場合、正常に冷媒漏えいの診断ができない場合があります。
 - 5) 空調負荷の変動が大きい、空調負荷が継続的に小さいなど安定した運転状況ではない場合、正常に冷媒漏えいの診断ができない場合があります。
- ・本サービスは、システム保守や機能アップのため、ソフトウェアバージョンアップを行う場合があります。
- ・バージョンアップ実施時は、MELく～るLINKのホームページで変更を公開します。
- ・バージョンアップ中とその前後で、一時的に運転データが閲覧できない場合や記録されない場合があります。
- ・フロン排出抑制法を遵守するため、冷媒漏えい診断をオプション機能で有効としている場合、空調機器の運転停止などによる運転データ欠損期間が連続して3か月^{*6}を超えないようにMELく～るLINKによる冷媒漏えい診断を実施してください。

連続して3か月を超えて運転データが取得できない場合、空調機器の管理者による簡易点検の実施が必要となります。

※6 運転データ取得ができなくなった日を起点とします。

1-1-2. R32冷媒を使用した空調機器で本サービスをご利用いただくにあたってのお知らせとお願い

- 本サービス (MEL く～る LINK) は、R32 冷媒を使用する空調機器で設置が必要な安全装置である警報装置の機能を提供するものではありません (警報装置の要件は「6-1. 関連ガイドラインについて [2] [3] (61 ページ)」で規定されています)。
冷媒漏えい時の警報は、空調機器を使用する現地に設置の警報装置で発報することが前提のシステムとなります。遠隔監視に用いる際は、空調機器に搭載もしくは別置の冷媒センサーで検知した際に発報する異常通知 (メールによる通知)、または冷媒漏えい検知機能 (契約時のサービス) による漏えい検知により冷媒漏えいが発生した可能性をお知らせしますので、これらの情報を確認した場合は速やかに処置^{※7}を実施してください。
- 本サービスの冷媒漏えい検知は2つの方法 (空調機器で R32 冷媒の漏えいが発生した場合、空調機器に内蔵する冷媒センサーまたは別置の検知警報器での検知による異常通知と、本サービスで別途契約により利用可能な「冷媒漏えい検知」による漏えい検知) によって、ユーザーに冷媒が漏えいした可能性があることをお知らせします。それぞれの機能は空調機器のセンサーで検知を行うものと、空調機器の運転状態から漏えいを判断するものの違いであり、特性の違いから必ずしも同じタイミングで発報を行うものではありません。漏えいを検知した場合はメールおよび画面上の異常通知でお知らせしますので、通知を受けた際は対応^{※7}を行ってください。
- 本サービスで提供する「安全装置回路点検サポート機能」は、安全装置 (検知器、警報装置、安全遮断弁) が正常に動作することを点検する際にユーザーを補助する為の機能であり、本機能のみで遠隔で全ての点検内容を完了させるものではありません。
- R32 冷媒は微燃性がある為、当社空調機器を用いる場合は、安全装置 (検知器、警報装置、安全遮断弁) の設置が必要となります。検知器 (空調機器に搭載の冷媒センサー) と別置の検知警報器は設置から5年毎に交換が必要です。交換しないまま使用を続けた場合、警報装置が正常に作動せず、事故や火災の原因となる可能性があります。(検知器、検知警報器の交換は「6-1. 関連ガイドラインについて [3] (61 ページ)」で規定されています)
- 安全装置回路点検 (JRA GL-16 で求められる回路検査) は、1年に1回以上実施し、正常に安全装置 (検知器、警報装置、安全遮断弁) が動作することを確認してください。点検を実施せず使用を続けた場合、安全装置が正常に作動せず、事故や火災の原因となる可能性があります。
- 検知器および検知警報器の交換および安全装置 (検知器、警報装置、安全遮断弁) の保守・点検方法については、空調機器 (室外機および室内機) の取扱説明書、据付工事説明書、および施工 / サービスマニュアルをご確認ください。
- 停電により警報が発報されないことを防ぐ為、安全対策に使用する安全装置 (検知器、警報装置、安全遮断弁)、換気装置等の電源は点検等のやむを得ない場合を除き停止しないようにしてください。
- 間仕切りの変更により空調機器の設置条件が変更となった場合は、必要に応じて安全装置 (検知器、警報装置、安全遮断弁) が有効に機能するよう設置場所を見直してください。
- 空調機器の管理者は、空調機器の利用者が冷媒漏えい時に対応^{※7}ができるように、説明および掲示などによって利用者に冷媒漏えい時の対応を通知するようにしてください。また、警報装置の近くに関係する連絡先の表示を行ってください。
- 冷媒漏えいが発生した場合、窓や戸を開けるなどして換気を行ってください。その後、ただちに空調機器の管理者に警報が発報したことを連絡してください。連絡を受けた管理者は点検保守業者へ点検・修理を依頼し、点検保守業者は携帯形検知器を携行した上で、速やかに現地へ向かい点検を実施してください。冷媒漏えい時の処置については、空調機器の施工 / サービスマニュアルにフローチャートを示した説明がありますのでご確認ください。なお、点検・修理の作業時には、JRA GL-16 : 2023 ((一社) 日本冷凍空調工業会作成ガイドライン) の箇条 8 で規定されている内容を遵守して作業を行ってください。修理を行わずそのまま使用を続けた場合、事故や火災の原因となる可能性があります。修理後は、冷媒漏えいの警報が発報しないことと、安全装置が正常に機能することを確認した上で空調機器を使用してください。

※7 処置方法は、「1-4. 関連資料 [1] (10 ページ)」をご確認ください。

1-2. システム構成

AE-CZJ、EW-CZJ、MCC-50Jを使用して、MELく～るLINKを使用する場合のシステム構成制約事項を示します。

■MELく～るLINKに接続可能なユニット、リモコン、集中コントローラ

[1] MELく～るLINK ホームページに記載されている対象機種を参照してください。

なお、「異常履歴の確認」、「号機情報（接続機器情報）の確認」、「運転データの確認」、「冷媒漏えい診断結果の確認」、「安全装置回路点検サポート」の各機能では、対象機種が異なります。

また、「安全装置回路点検サポート」に対応するリモコン、集中コントローラなどは、「1-4. 関連資料 [1]（10ページ）」を参照してください。

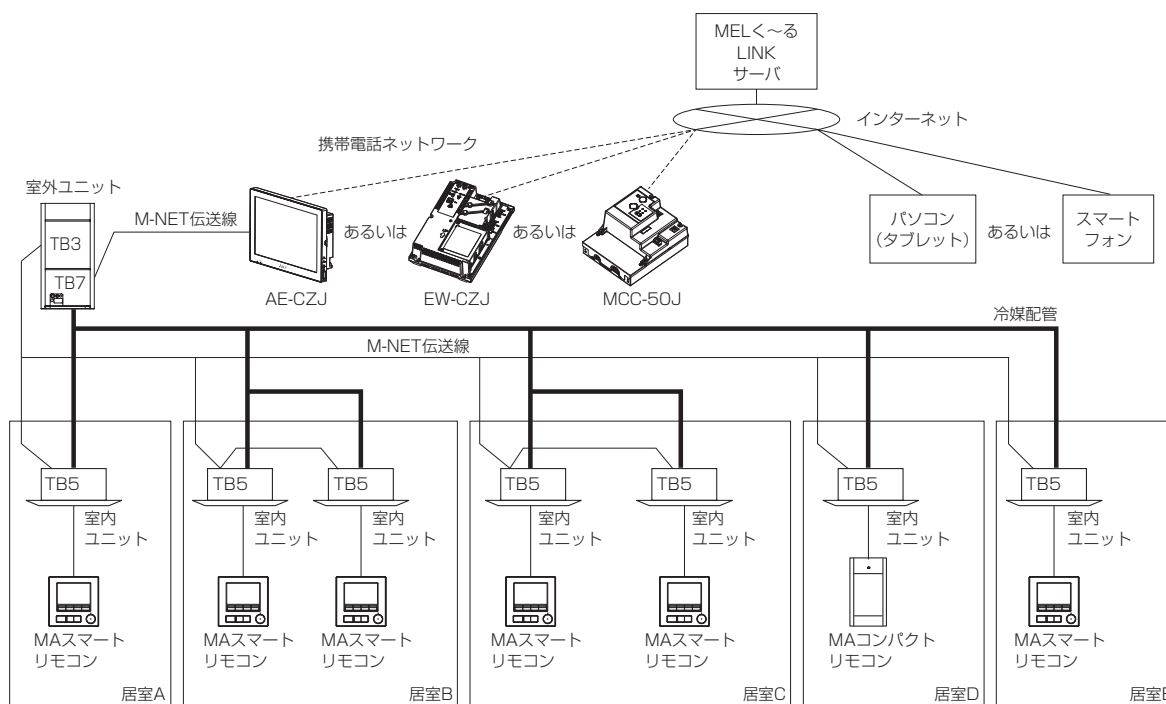
[1] MELく～るLINK ホームページ

<https://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/ja/air/guide/solution/melcool/index.html>

■システム構成

以下に接続の例を示します。

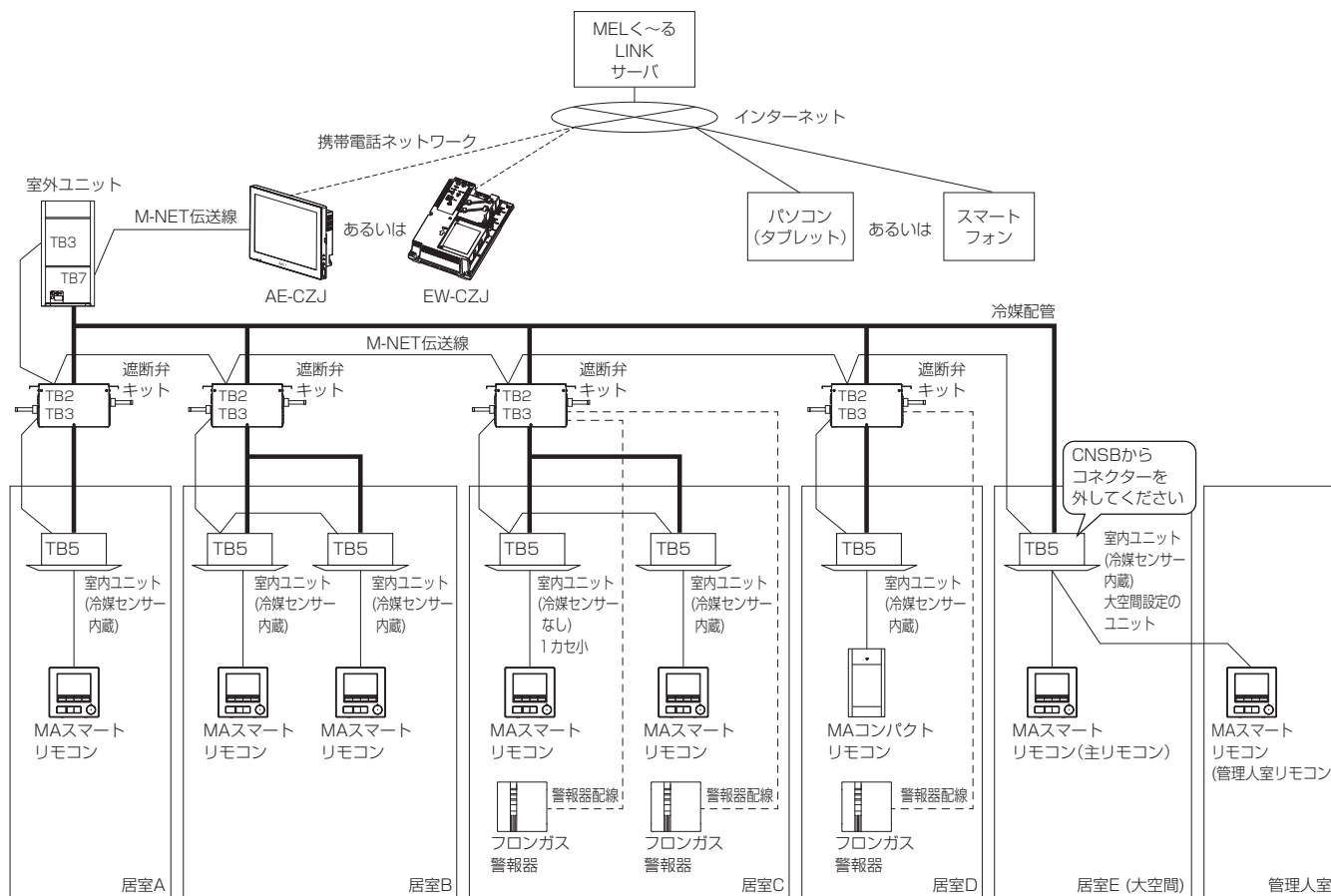
R32安全回路 なし



■システム構成(安全装置回路点検サポート)

以下に接続の例を示します。

R32 安全回路 あり



1-3. 制約

MELく～るLINKをAE-CZJ、EW-CZJ、MCC-50Jで利用する際の確認事項、制約事項を記載します。AE-CZJ、EW-CZJとMCC-50Jでは内容が一部異なりますので、ご確認をお願いいたします。

1-3-1. 共通

- 通信状態などにより一時的に運転データが取得できない場合があります。
- 契約していないサービスの機能については、使用できません。
- 画面の表示内容は、予告なく変更する可能性があります。
- 管理する物件が1件の場合は、一部の画面や機能が非表示または使用できない場合があります。
- 本マニュアル上で画面として記載されている機器の名称は一つの例であり、お客様が使用される機器とは異なる場合があります。

1-3-2. AE-CZJあるいはEW-CZJを使用する場合

- 運転データ表示は、通信状況等により一時的に運転データが取得できない場合があります。停電、本体のリセットボタンの押し下げ、およびAE-CZJ/EW-CZJのソフトウェアアップデートが発生した場合、リセット時点から最大2時間前の運転データが取得できません。
- インターネット不通時はAE-CZJ/EW-CZJに過去5日分のデータが保持されます。
 - ※ インターネット不通状態が5日以上続くと過去のデータから消去されます。AE-CZJ/EW-CZJ内に保持されている過去データは、インターネット接続時にクラウドへ保存されます。
 - ※ インターネット不通期間にAE-CZJ/EW-CZJの停電、本体のリセットボタンの押し下げが発生した場

合は、保持されている過去データは消去されます。

- スリムエアコンを冷媒漏えい診断対象に設定し、その機器が1日中停止状態だった場合、サービス会社が設定した時刻(初期設定では3時。サービス業者により、2～23時の間で設定可能)に、冷媒漏えいを診断するための、短時間(25～60分程度)の運転(試運転モードでの運転)を実施します。ユニットが冷媒漏えい診断を実施するための短時間運転中に、リモコン操作やスケジュール機能で停止すると冷媒漏えい診断が行われませんので、試運転モードでの運転中は停止しないでください。試運転モード中は、設定された運転モード、風量、風向と異なる運転となることがあります。AE-CZJの電力按分課金支援機能と併用する場合は、前述の運転も電力按分の対象となります。
- スリムエアコンに対して冷媒漏えい診断する場合は、1グループに対しスリムエアコン室外機1台としてください。
- スリムエアコンで冷媒漏えい診断を利用する場合、上位システムコントローラや遠方発停用アダプタ等の外部入力により手元リモコン操作禁止(運転/停止、運転モード)を設定すると、冷媒漏えい検知のための運転を実施できず、冷媒漏えいを検知することができない場合があります。スリムエアコンに対しては手元リモコン操作禁止を設定しないか、または上位システムコントローラのスケジュール機能を使用して冷媒漏えい検知運転の時間帯を避けて手元リモコン操作禁止を設定してください。
(設定例:冷媒漏えい検知運転試運転モードの運転時間帯が3:00～5:00の場合、システムコントローラのスケジュール設定による手元リモコン操作禁止はAM 2:30「無効」・AM 5:30「有効」に設定する。)
- MELく～るLINKをご利用の場合、AE-CZJ/EW-CZJの時刻同期設定を「NTP」とし、クラウドサービスと同期するように設定してください。また、複数のAE-CZJ/EW-CZJを管理するシステムでは、現地ネットワーク内の全てのAE-CZJ/EW-CZJを「NTP」設定としてください。AE-CZJ/EW-CZJの時刻がずれていると、運転データの表示や冷媒漏えい診断が正常に動作しない場合があります。設定方法は「AE-CZJ/EW-CZJ取扱説明書(詳細編)」を参照してください。
- 冷媒漏えい診断対象外の機器では正しく冷媒漏えい診断が行われません。
- MELく～るLINKをご利用の場合、有線LAN接続でAE-CZJ/EW-CZJを使用することはできません。
- HWHP、業務用エコキュート、低温機器、除湿器、ルームエアコン、ハウジングエアコンはM-NETで接続することが可能ですが、MELく～るLINKの機能は利用できません。
- MELく～るLINKにAE-CZJ/EW-CZJを接続する場合、DT-Rの最大接続台数は12台までです。DT-RとDT-R以外の機器を併設する場合、空調機3台をDT-R 1台相当、HWHP1台をDT-R 1台相当、業務用エコキュート1台をDT-R 1台相当とし、DT-Rは12台(相当)以下にしてください。
- 遠隔監視の目的で新たにAE-CZJ/EW-CZJを設置する場合、現地の運用と合うようにDT-Rの設定値(後押し優先、指令入力元等)を確認してください。機種や設定によっては、AE-CZJ/EW-CZJと既設MAリモコンの機能が競合し、MAリモコンのスケジュール機能が利用できない等の問題が生じる場合があります。詳細はDT-RとAE-CZJ/EW-CZJの据付工事説明書、取扱説明書、技術マニュアルを参照してください。
- DT-Rの冷媒漏えい診断については、2023年7月製造以降のDT-RⅢ(プログラムVer.2.00以降)に対応しています。2023年6月以前に製造されたDT-RⅢについてはソフトウェアのバージョンアップが必要となります。バージョンアップについては、販売店にお問い合わせください。

1-3-3. MCC-50Jを使用する場合

- MCC-50Jでは安全装置回路点検サポートは利用できません。
- 運転データ表示は、通信状況等により一時的に運転データが取得できない場合があります。停電、本体のリセットボタンの押し下げ、およびMCC-50Jのソフトウェアアップデートが発生した場合、リセット時点から最大2時間前の運転データが取得できません。
- インターネット不通時はMCC-50Jに過去5日分のデータが保持されます。
 - ※ インターネット不通状態が5日以上続くと過去のデータから消去されます。MCC-50J内に保持されている過去データは、インターネット接続時にクラウドへ保存されます。
 - ※ インターネット不通期間にMCC-50Jの停電、本体のリセットボタンの押し下げが発生した場合は、保持されている過去データは消去されます。
- スリムエアコンを冷媒漏えい診断対象に設定し、その機器が1日中停止状態だった場合、サービス会社が設定した時刻(初期設定では3時。サービス業者により、2～23時の間で設定可能)に、冷媒漏えいを診断するための、短時間(25-60分程度)の運転(試運転モードでの運転)を実施します。ユニットが冷媒漏えい診

断を実施するための短時間運転中に、リモコン操作やスケジュール機能で停止すると冷媒漏えい診断が行われませんので、試運転モードでの運転中は停止しないでください。

- また、上位システムコントローラや遠方発停用アダプタ等の外部入力により手元リモコン操作禁止（運転/停止、運転モード）を設定すると、冷媒漏えい検知のための運転を実施できず、冷媒漏えいを検知することができない場合があります。スリムエアコンに対しては手元リモコン操作禁止を設定しないか、または上位システムコントローラのスケジュール機能を使用して冷媒漏えい検知運転の時間帯を避けて手元リモコン操作禁止を設定してください。

（設定例：冷媒漏えい検知運転試運転モードの運転時間帯が3:00～5:00の場合、システムコントローラのスケジュール設定による手元リモコン操作禁止はAM 2:30「無効」・AM 5:30「有効」に設定する。）

- 試運転モード中は、設定された運転モード、風量、風向と異なる運転となることがあります。AE-200Jの電力按分課金支援機能と併用する場合は、前述の運転も電力按分の対象となります。
- スリムエアコンに対して冷媒漏えい診断する場合は、1グループに対しスリムエアコン室外機1台としてください。また、グループ設定については、MELく～るLINK(専用クラウドシステム)を提供している販売店またはサービス会社にご確認ください。

- 冷媒漏えい診断対象外の機器では正しく冷媒漏えい診断が行われません。

- MELく～るLINKをご利用の場合、有線LAN接続でMCC-50Jを使用することはできません。

- ジーニアスリモコンで、一部のロスナイ機種(LGH-N**RX(D)、LGH-N**RKX2(D)、LGH-**CX6(D)、LGH-N**CX(D)、LKY-50RX)のナイトパーズ機能を使用している場合、MCC-50Jの立ち上げ通信(MCC-50J起動、初期設定ファイルアップロード、通信異常復旧)の発生から2時間半の間、ナイトパーズが停止し手元リモコンの画面からもナイトパーズの設定変更ができません。また、24時間換気機能を使用している場合は、24時間換気動作は継続し影響はありませんが、上記2時間半の間、手元リモコンの24時間換気設定画面から24時間換気制御のON/OFFの設定ができません。

(ただし、手元リモコンのサービスメニューの機能設定画面からは設定ができます。)

なお、2時間半経過後、ナイトパーズ動作は復帰し、手元リモコンにはナイトパーズと24時間換気動作の設定画面が再度表示され、設定変更が可能になります。

- ルームエアコン、ハウジングエアコン、低温機器、除湿機、給湯機器には接続できません。
- 電気用品安全法により三菱電機ルームエアコンおよびハウジングエアコン(システム制御用インターフェース接続)は、MELく～るLINKシステムのEthernet通信や無線通信を使用できません。詳細は販売店にお問い合わせください。
- MCC-50Jを接続する場合、DT-Rの最大接続台数は12台までです。DT-Rと空調機を併設する場合、空調機3台をDT-R1台相当とし、DT-Rは12台以下にしてください。
- DT-RにMCC-50JとMAリモコンを併設するシステムで、後押し優先機能を有効にしている場合は、MAリモコンのスケジュール機能は使用できません。(DT-R(初期型)や、DT-RⅡで後押し優先無効(出荷時設定初期値)、DT-RⅢで後押し優先無効(要設定)の場合はスケジュール機能を使用できます。)。ただし、23年7月生産分以降のDT-RⅢでは、後押し優先機能が有効であってもMAリモコンのスケジュール機能が使用できます。それ以前に生産されたDT-RⅢでは、最新のソフトにバージョンアップを行うことで、使用可能となります。後押し優先機能、および、バージョンアップが必要かどうかについては、専用クラウドシステムを提供している販売店またはサービス会社にお問い合わせください。なお、AE-200JとMAリモコンを併設する場合はスケジュール機能の競合を抑えるために、MAリモコンのスケジュール機能は使用せず、AE-200Jのスケジュール機能を使用してください。

1-4. 関連資料

[1] 三菱電機 ビル用マルチエアコン 施工/サービスマニュアル R32 冷媒対応 (MEES23W063)

[2] 三菱電機空調冷熱総合管理システム AE-CZJ/EW-CZJ取扱説明書(詳細編)(WT09992)

2. 使用方法

MELく～るLINKの使用方法を説明します。

2-1. 機能

MELく～るLINKは、以下の5つのサービスを提供します。

- ・ 異常履歴の確認
- ・ 号機情報（接続機器情報）の確認
- ・ 運転データの確認（オプション）
- ・ 冷媒漏えい診断結果の確認（オプション）
- ・ 安全装置回路点検サポート（オプション）

機器に異常が発生したときには、登録したメールアドレス宛にメールが送付されます。また、冷媒漏えい診断結果をダウンロードすることができます。

提供サービス	スマートフォン	PC (タブレットを含む)
異常履歴の確認	○	○
号機情報（接続機器情報）の確認	○	○
運転データの確認	○	○
冷媒漏えい診断結果	○	○
安全装置回路点検サポート	-	○

○は対応しています。-は未対応です。

お知らせ

- ・ オプションのサービス利用は個別に契約が必要です。
- ・ お客様が管理される物件数や使用される機器によって、表示される画面や画面に表示される機器名称が本マニュアルと異なる場合があります。
- ・ 通信状態などにより一時的に運転データが取得できない場合があります。
- ・ 画面の表示内容は、予告なく変更する可能性があります。

2-2. サービス対象機種

MELく～るLINKのサービス対象機種、冷媒漏えい検知対象機種はMELく～るLINKのホームページで確認してください。「1-2. システム構成 [1] MELく～るLINKホームページ (7ページ)」を参照してください。

2-3. ログイン/ログアウト

[1] ログイン

手順

1. ログイン画面を開く。
MELく〜るLINK ホームページにアクセスします。
ホームページで、[MELく〜るLINK ログイン] ボタンをクリックします。



ホームページへのアクセスは、三菱電機 暮らしと設備「<https://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/ja/air/guide/lineup/index.html>」、三菱電機ビルソリューションズホームページ「<https://www.meltec.co.jp/>」からもできます。詳細は各サイトを参照してください。



2. MELく～るLINKにログインする。

ユーザー名、パスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。
(契約内容により2種類のログイン画面があります)



3. MELく～るLINKのトップ画面を開く。

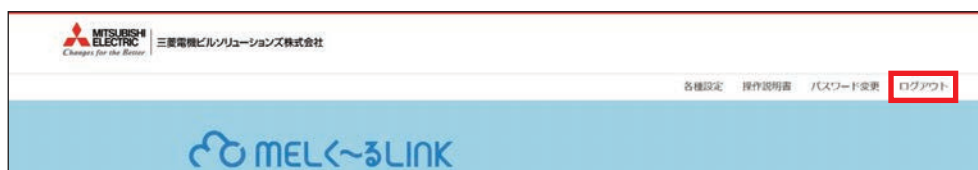
MELく～るLINKのトップ画面に、お客様が契約しているサービスの機能が表示されます。



[2] ログアウト

手順

1. 画面上部の「ログアウト」をクリックします。
MELく～るLINKからログアウトします。



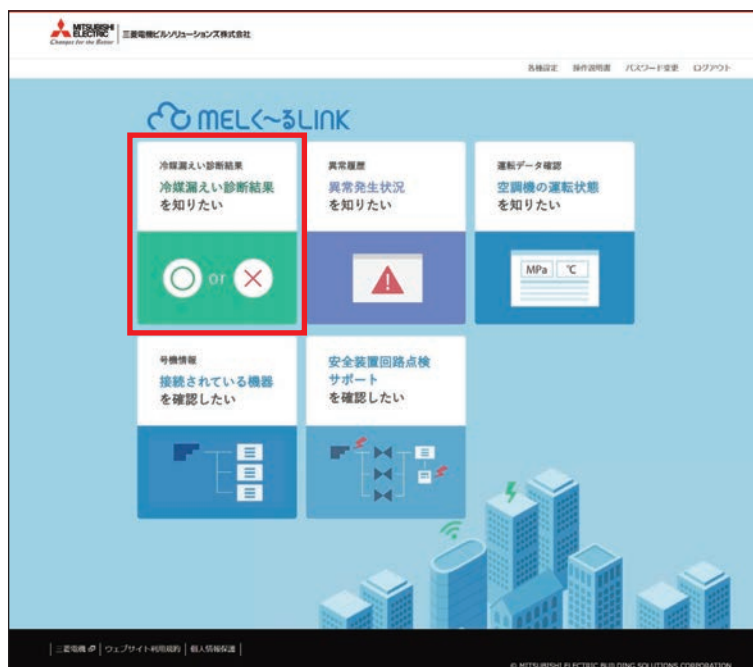
2-4. 冷媒漏えい診断結果の確認

冷媒漏えい診断結果を閲覧できます。

※ 閲覧にはオプション契約が必要です。

手順

1. MELく〜るLINKのトップ画面より、[冷媒漏えい診断結果]をクリックする。



お知らせ

- 本サービスでは空調機器でR32冷媒の漏えいが発生した場合、空調機器に搭載する冷媒センサーまたは別置の検知警報器での検知による異常通知と、本サービスで別途契約により利用可能な「冷媒漏えい診断」による漏えい検知の2つの情報を用い、ユーザーに冷媒が漏えいした可能性があることをお知らせします。それぞれの機能は空調機器のセンサーで検知を行うものと、空調機器の運転状態から漏えいを判断するものの違いであり、特性の違いから必ずしも同じタイミングで発報を行うものではありません。漏えいを検知した場合はメールおよび画面上の異常通知でお知らせしますので、通知を受けた際は対応を行ってください。処置方法は、「1-4. 関連資料 [1] (10ページ)」をご確認ください。

2-4-1. 物件選択 冷媒漏えいの診断

冷媒漏えい診断結果を確認したい物件の[選択]をクリックし、「冷媒漏えいの診断」画面を表示します。



2-4-2. 「冷媒漏えいの診断」画面の説明

冷媒漏えい診断結果を「冷媒漏えいの診断」画面で確認できます。



●OK：診断対象ユニットの診断結果に、冷媒漏えいまたは冷媒漏えいの疑いはありません。

●NG：1台以上の診断対象ユニットの診断結果に、冷媒漏えいまたは冷媒漏えいの疑いがあります。

無印：日付に色がついていない場合(無色)は、未契約の期間や、診断ができなかった場合に発生します。

(空調機器が停止している場合、停電、機器の故障等により対象空調機器の圧力情報、温度情報等、運転データを正常に取得できなかった場合、診断が行えません。)

[1] 「物件選択-冷媒漏えい診断(日付)」画面

カレンダーの日付にある[●]または[●]をクリックし、その日の冷媒漏えい診断結果を表示する。

カレンダー上の日付をクリックして冷媒漏えい診断結果を表示します。



[2] 「冷媒漏えいの診断」画面

手順

1. 「冷媒漏えいの診断」画面で冷媒漏えい診断結果を確認する。

- ② 「カレンダー」画面に遷移します。 ④ 「物件選択 - 冷媒漏えいの診断」画面に遷移します。
 ① 「冷媒漏えいの診断ダウンロード」画面に遷移します。

前日に移動
 翌日に移動
 クリックでカレンダーを表示

- ① 「冷媒漏えいの診断ダウンロード」画面に遷移します。 ③ 「ユニット種別」 「M-NET アドレス」 「1時間ごとのデータ」の表が表示されます。

※ 機種により、一部表示の異なる場合があります。

※ 号機情報ツリーは、AE-CZJ, EW-CZJを利用の場合はAE, EW表示、MCC-50Jを利用の場合はMCC表示になります。

表内の○、×をクリックすると、詳細が確認できます。

○：診断対象ユニットの診断結果に、冷媒漏えいまたは冷媒漏えいの疑いはありません。

×：診断対象ユニットの診断結果に、冷媒漏えいまたは冷媒漏えいの疑いがあります。

運転データも参考として閲覧可能になります。ただし、通信状態等により一時的に運転データが取得できない場合があります。

ユニット種別	M-NETアドレス	06:00	07:00	08:00	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
OC	089	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

[OK]

ユニット種別	M-NETアドレス	センサー名称(単位)	08:00	08:05	08:10	08:15	08:20	08:25	08:30	08:35
OC	089	高圧圧力(MPa)	1.04	1.05	1.06	1.07	1.08	1.09	1.1	2.19
OC	089	室外吐出温度(℃)	20.1	20.1	20.5	20.1	20.5	20.1	20.1	45.3
OC	089	外気温度(℃)	12.3	12.5	12.7					
OC	089	低圧圧力(MPa)	1.05	1.05	1.06					
OC	089	運転モード	停止	停止	停止					
OC	089	室外液管温度(℃)	11.6	11.8	11.9					
IC	039	室内吸込/OA/吹出温度(※1)(℃)	20.9	20.9	20.9					
IC	039	室内液管温度(℃)	19.7	19.7	19.7					
IC	039	室内ガス管温度(℃)	19.7	19.7	19.7					
IC	039	外気/RA/吹出温度(※2)(℃)								

[NG] : 9922 冷媒漏えい(暖房)

ユニット種別	M-NETアドレス	センサー名称(単位)	12:00	12:05	12:10	12:15	12:20	12:25	12:30	12:35
OC	089	高圧圧力(MPa)	1.34	1.34	1.34	1.34	1.35	1.34	1.34	1.34
OC	089	室外吐出温度(℃)	28.1	27.8	28.1	28.5	28.5	28.8	28.5	28.1
OC	089	外気温度(℃)	21.0	21.2	21.3	21.3	21.4	21.3	21.2	21.1
OC	089	低圧圧力(MPa)	1.33	1.34	1.34	1.34	1.35	1.35	1.35	1.34
OC	089	運転モード	暖房	暖房	暖房	暖房	暖房	暖房	暖房	暖房
OC	089	室外液管温度(℃)	19.8	19.8	20.1	20.0	20.2	20.1	20.0	20.1
IC	039	室内吸込/OA/吹出温度(※1)(℃)	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	20.9	20.9	20.9
IC	039	室内液管温度(℃)	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5
IC	039	室内ガス管温度(℃)	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5
IC	039	外気/RA/吹出温度(※2)(℃)								

(1) 「冷媒漏えいの診断ダウンロード」画面

「冷媒漏えいの診断」画面で[ データダウンロード]をクリックすると、「冷媒漏えいの診断ダウンロード」画面が表示され、データのダウンロードが可能です。

冷媒漏えい診断結果の保有期間は3年です。3年以上たったデータは削除されます。


CSVデータより、診断結果、診断日、診断機器特定情報を転記いただき、記載した帳票を保管してください。

お知らせ

- 冷媒漏えい診断結果(運転データを含む)は、MELく～るLINK契約終了後は利用できなくなります。MELく～るLINKの利用を終了する場合は、契約終了前に必要なデータの出力をしてください。



(2) 「運転データ確認」画面

「冷媒漏えいの診断」画面で [] をクリックすると、「ユニット種別」、「M-NETアドレス」、「運転データ」の表が表示されます。

運転データ確認  

※1 機種によって、表示内容は異なります。該当項目は室内機TH1を表示しています。詳しくは各機種の取り扱い説明書をご確認ください。
 ※2 機種によって、表示内容は異なります。該当項目は室内機TH4を表示しています。詳しくは各機種の取り扱い説明書をご確認ください。

運転データ確認開始日時

AE 001 ▶ OC 089 < 2024/11/11 14:45 >

ユニット種別	M-NETアドレス	センサー名称(単位)	14:45	14:50	14:55	15:00	15:05	15:10	15:15	15:20	15:25	15:30
OC	089	高圧圧力(MPa)	1.36	1.36	1.36	1.36	1.36	1.36	1.35	1.35	1.36	1.35
OC	089	室外吐出温度(°C)	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.8	28.5
OC	089	外気温度(°C)	21.1	21.1	21.1	21.2	21.1	21.0	20.9	20.8	20.8	20.6
OC	089	低圧圧力(MPa)	1.36	1.36	1.36	1.36	1.36	1.36	1.35	1.35	1.35	1.35
OC	089	運転モード	暖房	暖房	暖房	暖房	暖房	暖房	暖房	暖房	暖房	暖房
OC	089	室外液管温度(°C)	20.4	20.5	20.4	20.5	20.4	20.4	20.2	20.2	20.2	20.1
IC	039	室内吸込/OA/吹...	21.3	21.3	21.3	21.3	21.7	21.3	21.7	21.7	21.3	21.3
IC	039	室内液管温度(°C)	20.9	20.9	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3
IC	039	室内ガス管温度(...)	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3
IC	039	外気/RA/吹出温...										
IC	039	設定温度(°C)	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0

(3) 「カレンダー表示」画面



「冷媒漏えいの診断」画面で [] をクリックすると、カレンダー画面に遷移(戻る)します。

MITSUBISHI ELECTRIC 三菱電機ビルソリューションズ株式会社

各種設定 操作説明書 パスワード変更 ログアウト

11111111 本社

TOP 設定情報 異常履歴 データモニタ 安全設置説明

冷媒漏えいの診断   2024年11月

< 2024年10月 2024年11月 2024年12月 >

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
		1	2	3	4	5						1	2		1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9		8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16		15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23		22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30		29	30	31				

OK NG

(4) 「物件選択-冷媒漏えいの診断」画面

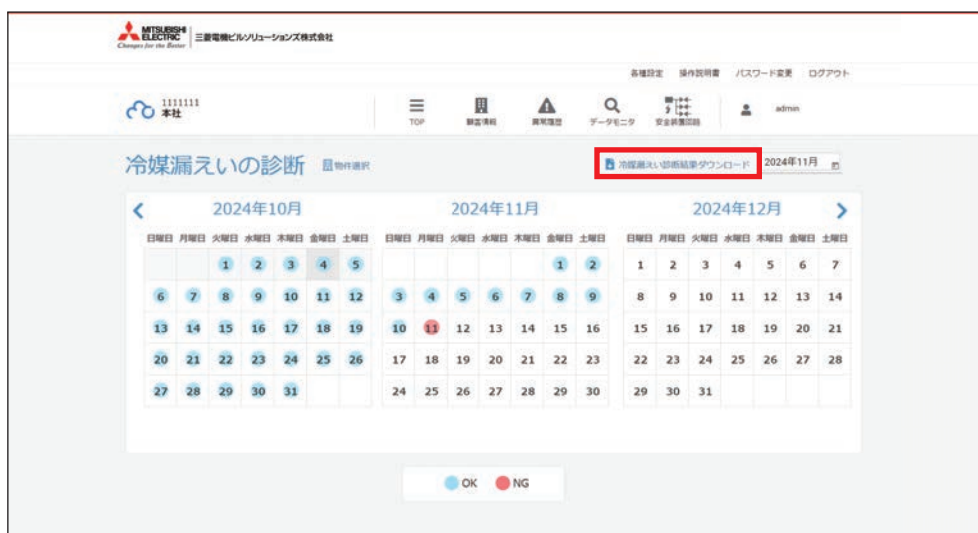
「冷媒漏えいの診断」画面で[[物件選択](#)]をクリックすると、「物件選択-冷媒漏えいの診断」画面に遷移(戻る)します。



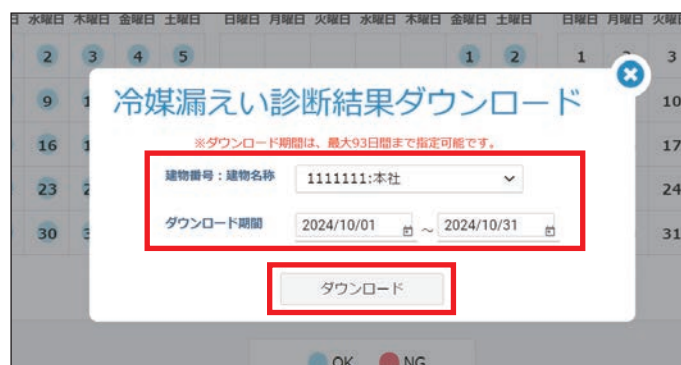
[3] 冷媒漏えい診断結果ダウンロード

手順

1. [冷媒漏えい診断結果ダウンロード] をクリックする。



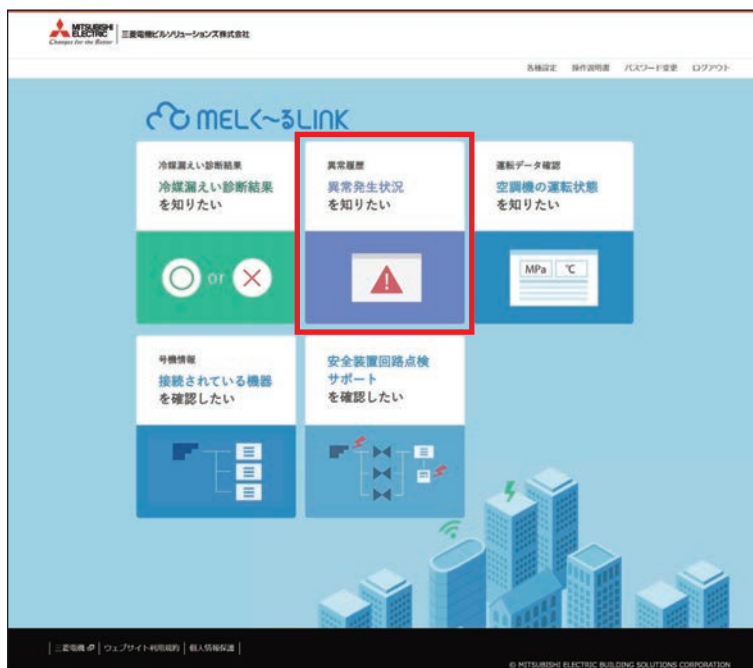
2. ダイアログ内の建物とダウンロード期間を選択して、[ダウンロード] をクリックする。
選択した建物と期間の冷媒漏えい診断結果をダウンロードします。
冷媒漏えい診断結果の保有期間は3年です。3年以上たったデータは削除されます。



2-5. 異常履歴の確認

手順

1. MELく〜るLINKのトップ画面より、[異常履歴]をクリックする。



2-5-1. 「異常履歴」画面の説明

「異常履歴」画面で、内容を指定して建物を検索します。

「発生日時」…カレンダー機能から入力します。

「建物番号：建物名称」…選択一覧より入力します。

建物番号	建物名称	SC機号	M-NETアドレス	系統名称	発生日時	検出日時	メール通知日時	コード	内容
1111111	本社	001	001		2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:13	2024-10-28 15:30	6602	通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	017		2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:13	2024-10-28 15:30	6602	通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	018		2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:13	2024-10-28 15:30	6602	通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	023	1階-A	2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:11		6602	発報なし(再発報抑制) 通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	024	1階-B	2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:11		6602	発報なし(再発報抑制) 通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	029	3階-A	2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:11		6602	発報なし(再発報抑制) 通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	030	3階-A	2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:13		6602	発報なし(多発報抑制) 通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	031	3階-B	2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:13		6602	発報なし(多発報抑制) 通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	032	3階-B	2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:13		6602	発報なし(多発報抑制) 通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	033	2階-A	2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:13		6602	発報なし(多発報抑制) 通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	034	2階-B	2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:13		6602	発報なし(多発報抑制) 通信異常 ACK無返信13-

「コード」…選択一覧より入力します。

「コードまたは内容」…文字入力し検索します。

[1] 「異常履歴」 検索結果

検索内容に基づいた表を表示する。

検索結果数と表示数

先頭ページへ

1 ページ戻る

1 ページ進む


最終ページへ

建物番号	建物名称	SC	M-NET アドレス	接続名称	発生日時	検出日時	メール 通知日時	コード	内容
1111111	本社	001	001		2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:13	2024-10-28 15:30	6920	通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	017		2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:13	2024-10-28 15:30	6920	通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	018		2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:13	2024-10-28 15:30	6920	通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	023	1階-A	2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:11	発報なし (再発報抑制)	6920	通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	024	1階-B	2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:11	発報なし (再発報抑制)	6920	通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	029	3階-A	2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:11	発報なし (再発報抑制)	6920	通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	030	3階-A	2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:13	発報なし (多発報抑制)	6920	通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	031	3階-B	2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:13	発報なし (多発報抑制)	6920	通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	032	3階-B	2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:13	発報なし (多発報抑制)	6920	通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	033	2階-A	2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:13	発報なし (多発報抑制)	6920	通信異常 ACK無返信13-
1111111	本社	001	034	2階-B	2024-10-28 15:09	2024-10-28 16:13	発報なし (多発報抑制)	6920	通信異常 ACK無返信13-

◇ ボタンで昇降順が変更できます。

コード番号をクリックすると
「運転データ確認」画面に遷移します。

[2] 「運転データ確認」画面

「異常履歴」画面の表内で [ コード] をクリックすると、「運転データ確認」画面に遷移し、運転データが閲覧できます。ただし、通信状態等により一時的に運転データが取得できない場合があります。冷媒漏えい診断を未契約の場合、表示できません。

AE	001
CH	023
CH	024
AIC	033
AIC	034
LC	037
LC	038
OC	079
OC	081
OC	089
AE	002
EW	003

2-6. 運転データの確認

冷媒漏えい診断をご契約いただいた場合は、運転データも参考として閲覧可能になります。
ただし、通信状態等により一時的に運転データが取得できない場合があります。
※契約していないサービスの機能については、ご使用できません。

手順

1. MELく〜るLINKのトップ画面より、[運転データ確認]をクリックする。



2-6-1. 「物件選択-運転データ確認」画面の説明



[選択] をクリックすると「運転データ確認」画面に遷移します。

[1] 「運転データ確認」画面

「物件選択 - 運転データ確認」画面で**[選択]**をクリックすると、「運転データ確認」画面に遷移します。
 運転データが閲覧可能になります。
 ただし、通信状態等により一時的に運転データが取得できない場合があります。

「運転データ確認開始日時」

… 運転データを表示する日時を選択します。



「データダウンロード」

… 運転データを日時を指定してダウンロードします。



「号機ツリーを表示」

… 運転データを表示するユニットを選択します。



運転データ確認

※1 機種によって、表示内容は異なります。該当項目は室内機TH1を表示しています。詳しくは各機種の取り扱い説明書をご確認ください。
 ※2 機種によって、表示内容は異なります。該当項目は室内機TH4を表示しています。詳しくは各機種の取り扱い説明書をご確認ください。

運転データ確認開始日時

AE 001 ▶ OC 089

2024/11/11 14:45

ユニット種別	M-NETアドレス	センサー名称(単位)	14:45	14:50	14:55	15:00	15:05	15:10	15:15	15:20	15:25	15:30
OC	089	高圧圧力(MPa)	1.36	1.36	1.36	1.36	1.36	1.36	1.35	1.35	1.36	1.35
OC	089	室外吐出温度(℃)	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.8	28.5
OC	089	外気温度(℃)	21.1	21.1	21.1	21.2	21.1	21.0	20.9	20.8	20.8	20.6
OC	089	低圧圧力(MPa)	1.36	1.36	1.36	1.36	1.36	1.36	1.35	1.35	1.35	1.35
OC	089	運転モード	暖房	暖房	暖房	暖房	暖房	暖房	暖房	暖房	暖房	暖房
OC	089	室外機管温度(℃)	20.4	20.5	20.4	20.5	20.4	20.4	20.2	20.2	20.2	20.1
IC	039	室内吸込/OA/吹—	21.3	21.3	21.3	21.3	21.7	21.3	21.7	21.7	21.3	21.3
IC	039	室内機管温度(℃)	20.9	20.9	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3
IC	039	室内ガス管温度(—)	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3
IC	039	外気/RA/吹出風—										
IC	039	設定温度(℃)	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0

2-7. 号機情報の確認

手順

1. MELく〜るLINKのトップ画面より、[号機情報]をクリックする。

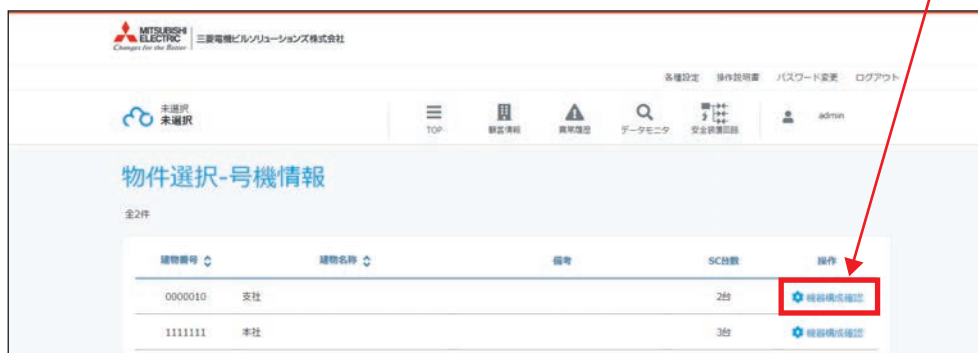


2-7-1. 「号機情報」画面の説明

物件ごとの機器構成を「号機情報」画面で確認できます。

※管理物件が1件の場合、「物件選択-号機情報」画面は表示されず、「号機情報」画面が表示されます。

機器構成を表示します。



[1] 「号機情報」画面

接続機器の一覧が表示されます。

接続機器の情報をCSV形式でダウンロードします。

The screenshot shows the '号機情報' (Machine Information) page. At the top right, there is a button labeled '機器構成情報ダウンロード' (Download Machine Configuration Information), which is highlighted with a red box. A red arrow points from the text above to this button. The main content area displays a tree view of machine information with columns for M-NETアドレス, 形名, 製造番号, 系統名称, 設置場所, バージョン, and 登録コード.

M-NETアドレス	形名	製造番号	系統名称	設置場所	バージョン	登録コード												
000	AE-CZJ	46823-009	A棟	A棟	1.20.11	L9L9FSHQSKN6T2												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>形名</th> <th>製造番号</th> <th>系統名称</th> <th>設置場所</th> <th>セット形名</th> <th>冷暖房なし診断</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CAHV-MP2000B</td> <td>339EJ001</td> <td>1階-A</td> <td>屋上</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>							形名	製造番号	系統名称	設置場所	セット形名	冷暖房なし診断	CAHV-MP2000B	339EJ001	1階-A	屋上		×
形名	製造番号	系統名称	設置場所	セット形名	冷暖房なし診断													
CAHV-MP2000B	339EJ001	1階-A	屋上		×													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>形名</th> <th>製造番号</th> <th>系統名称</th> <th>設置場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CAHV-MP2000B</td> <td>339EJ001</td> <td>1階-A</td> <td>屋上</td> </tr> </tbody> </table>							形名	製造番号	系統名称	設置場所	CAHV-MP2000B	339EJ001	1階-A	屋上				
形名	製造番号	系統名称	設置場所															
CAHV-MP2000B	339EJ001	1階-A	屋上															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>形名</th> <th>製造番号</th> <th>系統名称</th> <th>設置場所</th> <th>セット形名</th> <th>冷暖房なし診断</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CAHV-MP2000B</td> <td>339EJ002</td> <td>1階-B</td> <td>屋上</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>							形名	製造番号	系統名称	設置場所	セット形名	冷暖房なし診断	CAHV-MP2000B	339EJ002	1階-B	屋上		×
形名	製造番号	系統名称	設置場所	セット形名	冷暖房なし診断													
CAHV-MP2000B	339EJ002	1階-B	屋上		×													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>形名</th> <th>製造番号</th> <th>系統名称</th> <th>設置場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CAHV-MP2000B</td> <td>339EJ002</td> <td>1階-B</td> <td>屋上</td> </tr> </tbody> </table>							形名	製造番号	系統名称	設置場所	CAHV-MP2000B	339EJ002	1階-B	屋上				
形名	製造番号	系統名称	設置場所															
CAHV-MP2000B	339EJ002	1階-B	屋上															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>形名</th> <th>製造番号</th> <th>系統名称</th> <th>設置場所</th> <th>セット形名</th> <th>冷暖房なし診断</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PUZ-ERMP112LA...</td> <td>44U13891</td> <td>2階-A</td> <td>屋上</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>							形名	製造番号	系統名称	設置場所	セット形名	冷暖房なし診断	PUZ-ERMP112LA...	44U13891	2階-A	屋上		×
形名	製造番号	系統名称	設置場所	セット形名	冷暖房なし診断													
PUZ-ERMP112LA...	44U13891	2階-A	屋上		×													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>形名</th> <th>製造番号</th> <th>系統名称</th> <th>設置場所</th> <th>セット形名</th> <th>冷暖房なし診断</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PUZ-ERMP112LA...</td> <td>44U13892</td> <td>2階-B</td> <td>屋上</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>							形名	製造番号	系統名称	設置場所	セット形名	冷暖房なし診断	PUZ-ERMP112LA...	44U13892	2階-B	屋上		×
形名	製造番号	系統名称	設置場所	セット形名	冷暖房なし診断													
PUZ-ERMP112LA...	44U13892	2階-B	屋上		×													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>形名</th> <th>製造番号</th> <th>系統名称</th> <th>設置場所</th> <th>セット形名</th> <th>冷暖房なし診断</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LGH-N8ORX</td> <td>1904</td> <td>3階-A</td> <td>3階-A</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>							形名	製造番号	系統名称	設置場所	セット形名	冷暖房なし診断	LGH-N8ORX	1904	3階-A	3階-A		×
形名	製造番号	系統名称	設置場所	セット形名	冷暖房なし診断													
LGH-N8ORX	1904	3階-A	3階-A		×													

※ 機種により、一部表示の異なる場合があります。

※ 号機情報ツリーは、AE-CZJ, EW-CZJを利用の場合はAE, EW表示、MCC-50Jを利用の場合はMCC表示になります。

2-8. 安全装置回路点検サポート機能の実施

手順

1. MELく〜るLINKのトップ画面より、「安全装置回路点検サポートを確認したい」をクリックする。



お知らせ

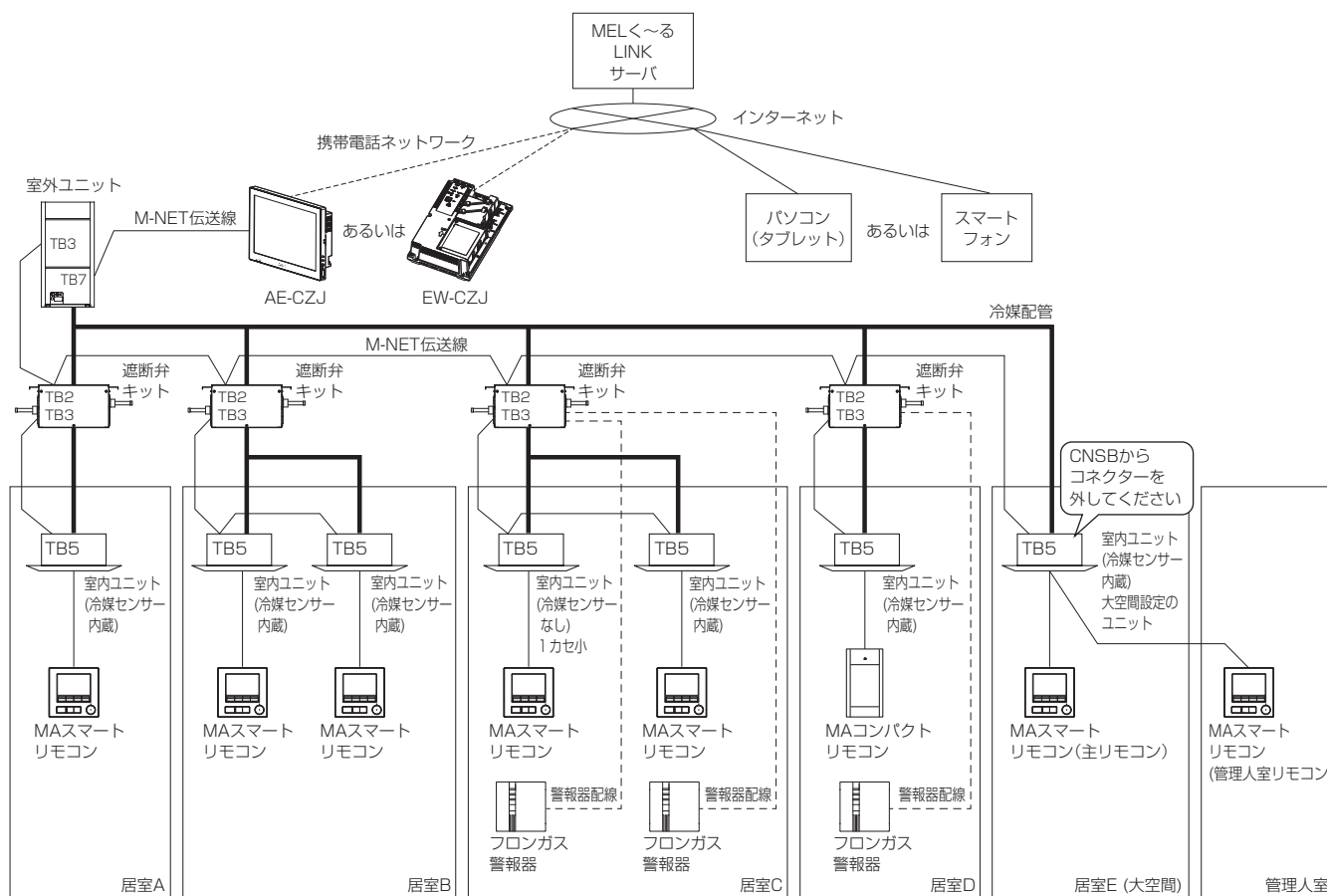
- 本サービスはMCC-50Jでは利用できません。
本サービスで提供する「安全装置回路点検サポート機能」は、安全装置（検知器、警報装置、検知警報器、安全遮断弁）が正常に動作することを点検する際にユーザーを補助する為の機能であり、本機能のみで遠隔で全ての点検内容を完了させるものではありません。
- R32冷媒は微燃性を持つ為、当社空調機器を用いる場合は、安全装置（検知器、警報装置、検知警報器、安全遮断弁）の設置が必要となります。検知器（空調機器に搭載の冷媒センサー）と別置の検知警報器は設置から5年毎に交換が必要です。交換しないまま使用を続けた場合、警報装置が正常に作動せず、事故や火災の原因となる可能性があります。
- 安全装置回路点検（JRA GL-16で求められる回路検査）は、1年に1回以上実施し、正常に安全装置（検知器、警報装置、検知警報器、安全遮断弁）が動作することを確認してください。点検を実施せず使用を続けた場合、安全装置が正常に作動せず、事故や火災の原因となる可能性があります。

用語の定義

用語		内容
遮断装置	遮断弁、安全遮断弁	遮断弁キット（CMR-MP100KT）を示します。 また、Fitマルチ室外ユニット内蔵の遮断弁を示します。
検知警報設備	警報装置	システムコントローラ（AE-CZJ、EW-CZJ）、MAスマートリモコン（PAR-46MA（-P））を示します。
	検知器	室内ユニット（冷媒センサー内蔵）を示します。
	検知警報器	フロンガス警報器（PAC-SL46FK）を示します。

安全装置回路点検（回路検査）時のシステムのイメージを下図に示します。

R32 安全回路 あり



安全装置回路点検（回路検査）の実施方法は、「1-4. 関連資料 [1] (10ページ)」もご参照ください。

お知らせ

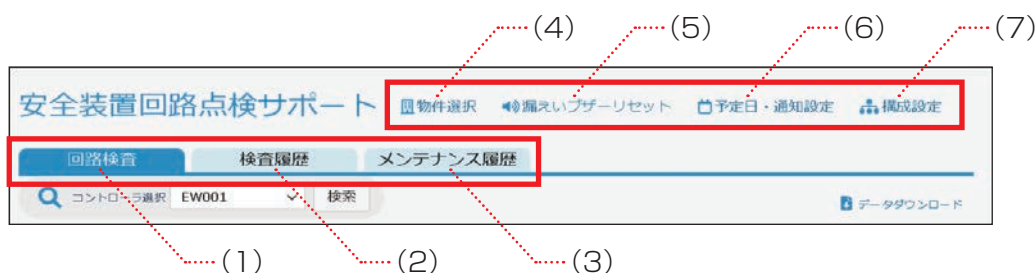
- 1 台の遮断弁キットに対し、8 台の室内ユニットが接続可能です。また、1 台の遮断弁キットに対して 8 つの検知警報器（フロンガス警報器）が接続可能です。
- 室内ユニット（冷媒センサー内蔵）とフロンガス警報器は併用できないため、回路検査を実施した場合、フロンガス警報器が優先されます。
- 同一 SC（システムコントローラ）内で同時に複数の室内ユニット（冷媒センサー内蔵）またはフロンガス警報器の回路検査を行うことはできません。
- Fit マルチ（フロンガス警報器用インターフェース）を利用したシステム構成でも回路検査の手順は同じです。Fit マルチでは安全遮断弁が室外機内蔵ですが、MELく～る LINK の表示上は室外機と別の M-NET アドレスに安全遮断弁があるように表示されます。

本コンテンツは、ユーザー（管理者または点検保守業者）に対し、安全装置に求められる 1 年に 1 回以上の回路検査および 5 年に 1 回以上の検知器と検知警報器の交換を実施する際に、以下の機能を提供することで作業のサポートを行うものです。

- 予めユーザーが登録した回路検査の予定日、検知器・検知警報器の交換予定日をメールで通知し、回路検査や交換を促す機能
- リモコン・システムコントローラで警報を発生し、その警報をユーザーが確認したことを記録する機能により、安全装置の動作確認と記録を支援する機能

2-8-1. 「安全装置回路点検サポート」画面の説明

- ・メニュー表示



No	表示	機能概要
(1)	回路検査	回路検査操作の実行、および状態・結果を表示します。 警報音の確認を現地で同時に行った際に結果を入力します。
(2)	検査履歴	回路検査履歴の表示と編集をします。 遮断弁検査結果およびユーザーが入力する警報の確認結果を表示します。
(3)	メンテナンス履歴	冷媒センサー交換履歴、回路検査履歴等の登録(自由入力)と表示を行います。
(4)	物件選択	複数物件管理時に物件を選択します。
(5)	漏えいブザーリセット	回路検査時、冷媒漏えい検出時にシステムコントローラのブザーリセットを行います。
(6)	予定日・通知設定	回路検査(1回/年)と冷媒センサー交換(1回/5年)の予定日の登録・表示およびメール通知設定を行ないます。
(7)	構成設定	検査対象の機器情報を取得し、登録します。 また、フロンガス警報器の「設置場所」を設定します。 安全装置回路点検サポートの初回利用時に実施してください。また、現地システム構成の変更があった場合も再度機器情報の取得・登録を行ってください(未登録では回路検査が実行できません)。

お知らせ

- ・本機能は、ユーザーが実施するR32冷媒を用いた空調機器(システム)の安全装置の回路検査と動作確認をサポートする機能です。安全装置の動作確認には警報装置の発報(鳴動)の確認も含まれていますが、この鳴動の確認はMELく～のLINK上ではできないため、現地で音の確認を行う担当者を配置して実施する必要があります。
- ・本機能は、現地で回路検査と動作確認を実施する際に、警報装置の操作(鳴動・停止)や点検結果の記録を省力化することを想定しており、遠隔で検査を行うことはできません。必ず現地で確認を実施してください。
- ・安全装置回路点検サポートの操作を行う前に、現地で警報装置(システムコントローラ、リモコン)および検知警報器の確認を行う準備が整っていることを確認してから、点検を実施してください。
- ・空調機器(室外機、室内機)、システムコントローラ、リモコンの電源は必ずONの状態で行う回路検査を実施してください。
- ・空調機器(室外機、室内機)、システムコントローラ、リモコンの異常発生中は回路検査を実行できません。ユニット異常を解消してから回路検査を実行してください。また、回路検査中にユニット異常が発生していないことを確認してください。
- ・回路検査中に空調機器(室外機、室内機)、システムコントローラ、リモコンの電源をOFFにしないでください。電源OFFした場合、回路検査が途中から進行しなくなる場合があります。回路検査中に停電した場合、復電後にユニット異常発生がないこと、空調機器の運転・停止ができることを確認してから再度回路検査を実施してください。

[1] 構成設定

「構成取得」ボタンを押下し、回路検査の対象ユニットの情報を取得、回路検査画面に反映します。また、フロンガス警報器 (S/A) の設置場所を編集し登録します。安全装置回路点検サポートを初めて利用する際は、必ず構成設定を行ってください。また現地のシステム構成を変更した場合にも構成設定を行ってください。

回路検査対象ユニットの情報取得と登録、フロンガス警報器の設置場所の編集と登録を行います。



No	表示	機能
(1)	コントローラ選択	号機情報画面で登録した AE-CZJ/EW-CZJ を選択します。
(2)	構成取得	回路検査の対象機器の情報を取得する。 取得した回路検査対象機器の情報は下部リスト表示部に表示されます。 また、取得した回路検査対象機器の情報は回路検査画面に反映されます。
(3)	件数表示	構成取得で取得した回路検査対象機器の件数を表示します。 下記が回路検査の対象となります。 <ul style="list-style-type: none"> 室内ユニット (冷媒センサー内蔵) 遮断弁に接続されたフロンガス警報器 (FIT マルチ用) フロンガス警報器用 IF に接続のフロンガス警報器
(4)	警報器設置場所	室内ユニット (冷媒センサー内蔵) およびフロンガス警報器の設置場所を表示します。
(5)	登録	構成取得で取得した対象機器の情報および入力した警報装置設置場所を登録・保存します。

リスト表示部の表示項目は以下の通りです。

No	項目	概要									
(a)	室外機アドレス	「構成取得」ボタン押下で取得した回路検査対象システムの室外機 (OC) アドレスを表示します。									
(b)	種別	<p>「構成取得」ボタン押下で取得した検査対象を表示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>表示</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a)</td> <td>IC(SA)</td> <td>室内ユニット (冷媒センサー内蔵) 検査対象が室内ユニット (冷媒センサー内蔵) の場合に IC (SA) を表示します。</td> </tr> <tr> <td>b)</td> <td>SV</td> <td>遮断弁キット 検査対象が、フロンガス警報器の場合に SV を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> フロンガス警報器は遮断弁キット SV に接続されるため、遮断弁アドレスと接点 (A～H) を指定し検査実行してください。 FIT マルチの場合フロンガス警報器用インターフェース (FGAIF) を示します。 </td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 室内ユニット (冷媒センサー内蔵) とフロンガス警報器の併用はできません。併用した場合はフロンガス警報器が優先となります。</p>		表示	意味	a)	IC(SA)	室内ユニット (冷媒センサー内蔵) 検査対象が室内ユニット (冷媒センサー内蔵) の場合に IC (SA) を表示します。	b)	SV	遮断弁キット 検査対象が、フロンガス警報器の場合に SV を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> フロンガス警報器は遮断弁キット SV に接続されるため、遮断弁アドレスと接点 (A～H) を指定し検査実行してください。 FIT マルチの場合フロンガス警報器用インターフェース (FGAIF) を示します。
	表示	意味									
a)	IC(SA)	室内ユニット (冷媒センサー内蔵) 検査対象が室内ユニット (冷媒センサー内蔵) の場合に IC (SA) を表示します。									
b)	SV	遮断弁キット 検査対象が、フロンガス警報器の場合に SV を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> フロンガス警報器は遮断弁キット SV に接続されるため、遮断弁アドレスと接点 (A～H) を指定し検査実行してください。 FIT マルチの場合フロンガス警報器用インターフェース (FGAIF) を示します。 									
(c)	室内機 / 遮断弁アドレス	検査対象が種別「IC(SA)」の場合、室内機アドレスを表示します。 検査対象が種別「SV」の場合、遮断弁アドレス (FIT マルチの場合 FGAIF アドレス) を表示します。									
(d)	設置場所	室内ユニット (冷媒センサー内蔵) の場合、室内機の設置場所を表示します。 (号機情報画面で設定した内容を表示します) フロンガス警報器の場合、フロンガス警報器の設置場所を表示します。 (構成設定画面で設定した内容を表示します)									
(e)	接点	「構成取得」ボタン押下で取得した、フロンガス警報器の接点 (A～H) の情報を表示します。 ※ 室内ユニット (冷媒センサー内蔵) の場合は「-」表示となります。									
(f)	警報器設置場所	回路検査に関する情報を任意で入力できます。									

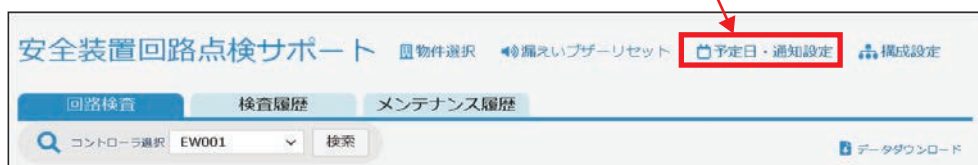
[2] 予定日・通知設定

下記項目の予定日を設定、表示できます。

点検 (回路検査) 予定日、冷媒センサー (検知器、検知警報器) 交換予定日を設定しメール通知を有効に設定することにより、予定日前に点検予定日と交換予定日を通知することができます。通知先メールアドレスは、異常・冷媒漏えい診断のメール設定と共通となります。

- 回路検査の予定日
- 冷媒センサー交換の予定日
- 点検予定日メール通知の有効・無効
- 冷媒センサー交換予定日メール通知の有効・無効

回路検査の予定日をパターンとして設定し、メール通知を行います。



- 点検予定日タブ



No	表示	機能																		
(1)	設定保存	点検パターン選択（一括、各室外機系統）の設定値を保存します。																		
(2)	点検パターン設定	点検パターン設定画面へ遷移し、点検パターンの設定内容を編集します。次回点検予定日の変更も本ボタンより行います。																		
(3)	一括パターン選択	一括パターン設定画面へ遷移します。 物件内全数の「全館」またはシステムコントローラ毎に点検パターンを選択できます。																		
(4)	リスト表示部	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SC番号</td> <td>号機情報画面で登録したシステムコントローラの番号を表示します。</td> </tr> <tr> <td>室外機アドレス</td> <td>構成設定で取得した回路検査対象の室外機（OC）のアドレスを表示します。</td> </tr> <tr> <td>系統名称</td> <td>室外機アドレスに対する系統名称を表示します。号機情報画面で登録します。</td> </tr> <tr> <td>点検パターン</td> <td>プルダウンで点検パターンを選択します。「未選択（初期値）」、「点検パターン1」～「点検パターン5」より選択できます。</td> </tr> <tr> <td>次回点検予定日</td> <td>点検パターン設定で設定した次回点検予定日を表示します。</td> </tr> <tr> <td>通知有効/無効</td> <td>点検パターン設定で設定した通知の有効/無効を表示します。初期値「無効」と有効（1週間前）を選択できます。 ※ 有効の場合、1週間前のメール通知が必須となります。</td> </tr> <tr> <td>追加通知設定1</td> <td>点検パターン設定で設定した追加通知設定1の設定値を表示します。</td> </tr> <tr> <td>追加通知設定2</td> <td>点検パターン設定で設定した追加通知設定2の設定値を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	概要	SC番号	号機情報画面で登録したシステムコントローラの番号を表示します。	室外機アドレス	構成設定で取得した回路検査対象の室外機（OC）のアドレスを表示します。	系統名称	室外機アドレスに対する系統名称を表示します。号機情報画面で登録します。	点検パターン	プルダウンで点検パターンを選択します。「未選択（初期値）」、「点検パターン1」～「点検パターン5」より選択できます。	次回点検予定日	点検パターン設定で設定した次回点検予定日を表示します。	通知有効/無効	点検パターン設定で設定した通知の有効/無効を表示します。初期値「無効」と有効（1週間前）を選択できます。 ※ 有効の場合、1週間前のメール通知が必須となります。	追加通知設定1	点検パターン設定で設定した追加通知設定1の設定値を表示します。	追加通知設定2	点検パターン設定で設定した追加通知設定2の設定値を表示します。
項目	概要																			
SC番号	号機情報画面で登録したシステムコントローラの番号を表示します。																			
室外機アドレス	構成設定で取得した回路検査対象の室外機（OC）のアドレスを表示します。																			
系統名称	室外機アドレスに対する系統名称を表示します。号機情報画面で登録します。																			
点検パターン	プルダウンで点検パターンを選択します。「未選択（初期値）」、「点検パターン1」～「点検パターン5」より選択できます。																			
次回点検予定日	点検パターン設定で設定した次回点検予定日を表示します。																			
通知有効/無効	点検パターン設定で設定した通知の有効/無効を表示します。初期値「無効」と有効（1週間前）を選択できます。 ※ 有効の場合、1週間前のメール通知が必須となります。																			
追加通知設定1	点検パターン設定で設定した追加通知設定1の設定値を表示します。																			
追加通知設定2	点検パターン設定で設定した追加通知設定2の設定値を表示します。																			
(5)	点検パターン選択	設定した点検パターン1～5を各室外機系統に適用します。「未選択（初期値）」、「点検パターン1」～「点検パターン5」より選択できます。																		
(6)	データダウンロード	点検予定日の設定内容をCSVデータとしてダウンロードします。																		
(7)	件数表示	回路検査の対象となる室外機（OC）の件数を表示します。																		

2. 使用方法

点検パターン設定で点検パターン1～5の設定内容を編集し、次回点検予定日、点検予定日のメール通知有効/無効、通知時期を設定します。

	次回点検予定日	通知有効/無効	追加通知設定1	追加通知設定2
点検パターン1	2025/09/26	有効(1週間前)	4カ月前	10カ月前
点検パターン2	2025/03/14	有効(1週間前)	4カ月前	当月
点検パターン3	2037/06/02	無効		
点検パターン4	2042/06/05	有効(1週間前)	4カ月前	なし
点検パターン5	2046/02/06	有効(1週間前)	11カ月前	5カ月前

No	表示	機能
(1)	次回点検予定日	カレンダーアイコン選択で次回点検の日付を選択します。翌日以降の日付が設定できます。過去～設定当日の日付は選択できません。初期値は設定なし(未選択)です。
(2)	通知有効/無効	事前の点検予定日のメール通知有効/無効を選択します。「無効」(初期値)、「有効(1週間前)」より選択できます。 ※ 有効の場合は1週間前のメール通知は必須となります。
(3)	追加通知設定1	1週間前のメール通知に加え、追加で事前に通知したい場合に設定します。「なし」「当月」「1カ月前」・・・「11カ月前」より選択できます。通知設定「無効」の場合、選択できません。
(4)	追加通知設定2	1週間前のメール通知に加え、追加で事前に通知したい場合に設定します。「なし」「当月」「1カ月前」・・・「11カ月前」より選択できます。通知設定「無効」の場合、選択できません。
(5)	設定	編集した内容を保存し、点検予定日画面に戻ります。
(6)	キャンセル	保存せずに予定日・通知設定画面に戻ります。

一括パターン選択では、「全館」(物件内全数)またはシステムコントローラ毎に点検パターン1～5を適用できます。

No	表示	機能
(1)	対象範囲	「全館」(物件内のすべてのシステムコントローラ)、システムコントローラ毎(SC001,SC002…)より通知設定を適用する対象を選択します。
(2)	点検パターン	「パターン1」～「パターン5」より点検パターンを選択します。
(3)	次回点検予定日	点検パターンの選択・切り替えに応じて、点検パターン設定の設定値を表示します。
(4)	通知有効/無効	点検パターンの選択・切り替えに応じて、点検パターン設定の設定値を表示します。
(5)	追加通知設定1	点検パターンの選択・切り替えに応じて、点検パターン設定の設定値を表示します。
(6)	追加通知設定2	点検パターンの選択・切り替えに応じて、点検パターン設定の設定値を表示します。
(7)	設定	編集した内容を保存し、点検予定日画面に戻ります。
(8)	キャンセル	保存せずに点検予定日画面に戻ります。

・ 交換予定日タブ



No	表示	機能																		
(1)	設定保存	交換パターン選択（一括、各室外機システム）の設定値を保存します。																		
(2)	交換パターン設定	交換パターン設定画面へ遷移し、交換パターンの設定内容を編集します。次回交換予定日の変更も本ボタンより行います。																		
(3)	一括パターン選択	一括パターン設定画面へ遷移し、物件内全数の「全館」またはシステムコントローラ単位で交換パターンを選択します。																		
(4)	リスト表示部	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SC 番号</td> <td>号機情報画面で登録したシステムコントローラの番号を表示します。</td> </tr> <tr> <td>室外機アドレス</td> <td>構成設定で取得した回路検査対象の室外機（OC）のアドレスを表示します。</td> </tr> <tr> <td>系統名称</td> <td>室外機アドレスに対する系統名称を表示します。号機情報画面で登録します。</td> </tr> <tr> <td>交換パターン</td> <td>プルダウンで交換パターンを選択します。「未選択（初期値）」、「交換パターン1」～「交換パターン5」より選択できます。</td> </tr> <tr> <td>次回交換予定日</td> <td>交換パターン設定で設定した次回交換予定日を表示します。</td> </tr> <tr> <td>通知有効/無効</td> <td>交換パターン設定で設定した通知有効/無効を表紙します。初期値「無効」と有効（1週間前）を選択できます。 ※ 有効の場合、1週間前のメール通知が必須となります。</td> </tr> <tr> <td>追加通知設定1</td> <td>交換パターン設定で設定した追加通知設定1の設定値を表示します。</td> </tr> <tr> <td>追加通知設定2</td> <td>交換パターン設定で設定した追加通知設定2の設定値を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	概要	SC 番号	号機情報画面で登録したシステムコントローラの番号を表示します。	室外機アドレス	構成設定で取得した回路検査対象の室外機（OC）のアドレスを表示します。	系統名称	室外機アドレスに対する系統名称を表示します。号機情報画面で登録します。	交換パターン	プルダウンで交換パターンを選択します。「未選択（初期値）」、「交換パターン1」～「交換パターン5」より選択できます。	次回交換予定日	交換パターン設定で設定した次回交換予定日を表示します。	通知有効/無効	交換パターン設定で設定した通知有効/無効を表紙します。初期値「無効」と有効（1週間前）を選択できます。 ※ 有効の場合、1週間前のメール通知が必須となります。	追加通知設定1	交換パターン設定で設定した追加通知設定1の設定値を表示します。	追加通知設定2	交換パターン設定で設定した追加通知設定2の設定値を表示します。
項目	概要																			
SC 番号	号機情報画面で登録したシステムコントローラの番号を表示します。																			
室外機アドレス	構成設定で取得した回路検査対象の室外機（OC）のアドレスを表示します。																			
系統名称	室外機アドレスに対する系統名称を表示します。号機情報画面で登録します。																			
交換パターン	プルダウンで交換パターンを選択します。「未選択（初期値）」、「交換パターン1」～「交換パターン5」より選択できます。																			
次回交換予定日	交換パターン設定で設定した次回交換予定日を表示します。																			
通知有効/無効	交換パターン設定で設定した通知有効/無効を表紙します。初期値「無効」と有効（1週間前）を選択できます。 ※ 有効の場合、1週間前のメール通知が必須となります。																			
追加通知設定1	交換パターン設定で設定した追加通知設定1の設定値を表示します。																			
追加通知設定2	交換パターン設定で設定した追加通知設定2の設定値を表示します。																			
(5)	交換パターン選択	設定した交換パターン1～5を各室外機システムに適用します。「未選択（初期値）」、「交換パターン1」～「交換パターン5」より選択できません。																		
(6)	データダウンロード	交換予定日の設定内容をCSVデータとしてダウンロードします。																		
(7)	件数表示	回路検査の対象となる室外機（OC）の件数を表示します。																		

交換パターン設定で交換パターン1～5の設定内容を編集し、次回交換予定日、交換予定日のメール通知有効/無効、通知時期を設定します。

	次回交換予定日	通知有効/無効	追加通知設定1		追加通知設定2	
交換パターン1	2031/12/12	有効(1週間前)	1年	1カ月前	4年	3カ月前
交換パターン2	2041/02/28	有効(1週間前)	1年	1カ月前	4年	11カ月前
交換パターン3	2028/02/29	有効(1週間前)	1年	2カ月前	3年	2カ月前
交換パターン4	2034/07/05	有効(1週間前)	なし	3カ月前	なし	
交換パターン5	2035/07/19	有効(1週間前)	なし		なし	5カ月前

No	表示	機能
(1)	次回交換予定日	カレンダーアイコン選択で次回交換予定日の日付を選択します。 翌日以降の日付が設定できます。過去～設定当日の日付は選択できません。 初期値は設定なし(未選択)です。
(2)	通知有効/無効	事前の交換予定日のメール通知有効/無効を選択します。 「無効」(初期値)、「有効(1週間前)」より選択できます。 ※ 有効の場合は1週間前のメール通知は必須となります。
(3)	追加通知設定1	1週間前のメール通知に加え、追加で事前に通知したい場合に設定します。 年・カ月前のプルダウンの組み合わせにより年次で通知を行うことができます。 ■年 : 「なし」「0年」「1年」…「4年」より選択できます。 ■カ月前 : 「0カ月前」「1カ月前」…「11カ月前」より選択できます。 年設定「なし」の場合、追加通知設定1の通知は実行されません。 通知設定「無効」の場合、選択できません。
(4)	追加通知設定2	1週間前のメール通知に加え、追加で事前に通知したい場合に設定します。 年・カ月前のプルダウンの組み合わせにより年次で通知を行うことができます。 ■年 : 「なし」「0年」「1年」…「4年」より選択できます。 ■カ月前 : 「0カ月前」「1カ月前」…「11カ月前」より選択できます。 年設定「なし」の場合、追加通知設定2の通知は実行されません。 通知設定「無効」の場合、選択できません。
(5)	設定	編集した内容を保存し、点検予定日画面に戻ります。
(6)	キャンセル	保存せずに点検予定日画面に戻ります。

一括パターン選択では、「全館」(物件内全数)またはシステムコントローラ毎に交換パターン1～5を適用できます。

No	表示	機能
(1)	対象範囲	「全館」(物件内のすべてのシステムコントローラ)、システムコントローラ毎(SC001,SC002…)より通知設定を適用する対象を選択します。
(2)	交換パターン	「交換パターン1」～「交換パターン5」より交換パターンを選択します。
(3)	次回交換予定日	交換パターンの選択・切り替えに応じて、交換パターン設定の設定値を表示します。
(4)	通知有効/無効	交換パターンの選択・切り替えに応じて、交換パターン設定の設定値を表示します。
(5)	追加通知設定1	交換パターンの選択・切り替えに応じて、交換パターン設定の設定値を表示します。
(6)	追加通知設定2	交換パターンの選択・切り替えに応じて、交換パターン設定の設定値を表示します。
(7)	設定	編集した内容を保存し、交換予定日画面に戻ります。
(8)	キャンセル	保存せずに、交換予定日画面に戻ります。

お知らせ

- 点検予定日のメール通知、交換予定日のメール通知を有効とした場合、「1週間前(固定)」にメール通知します。また、追加通知設定によりメール通知日を2つまで追加できます。
- 通知日が過去の日付となるような設定は、選択できません。
- 選択した(年)月の初日にメール通知します。
- 点検予定日および交換予定日のメールは、冷媒系統単位(システムコントローラごと)となります。
- 回路検査を行った後、「点検パターン設定」の「次回点検予定日」を再設定することで、対象システムのメール通知日を一括で更新できます。
- 交換を行った後、「交換パターン設定」の「次回交換予定日」を再設定することで、対象システムのメール通知日を一括で更新できます。

[3] 履歴確認

メンテナンス履歴、検査履歴を入力、保存、表示できます。
 交換修理作業に関する詳細情報をメモとして入力、保存、表示できます。
 遮断弁や冷媒センサーの交換修理ごとに記録を行ってください。

- メンテナンス履歴

件数表示 コントローラ選択 対応日範囲指定 対応種別 検索 交換・修理登録 データダウンロード

安全装置回路点検サポート 目物件選択 漏えいリセット 予定日・通知設定 構成設定

回路検査 検査履歴 **メンテナンス履歴**

コントローラ選択 全コントローラ

対応日 2022/10/02 ~ 2024/09/30 対応種別

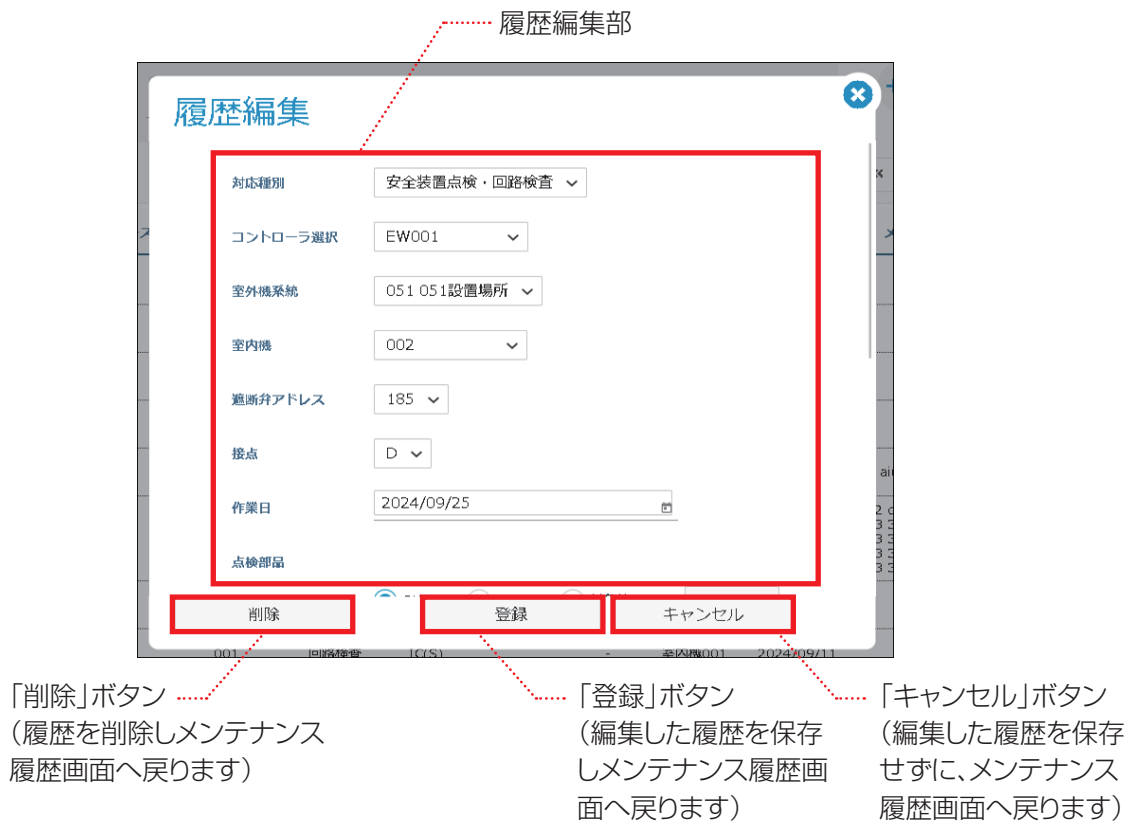
検索 + 交換・修理登録 データダウンロード

14件中、1-14件を表示中

SC番号	室外機アドレス	室内機アドレス	対応種別	種別	通所先アドレス	投点	設備場所	対応日	メモ
001	051	002	安全装置点検・回路検査	SV	185	D		2024/09/25	編集
002	051	001	安全装置点検・回路検査	SV	185	D		2024/09/25	編集
002	051	001	回路検査	SV	185	D		2024/09/25	編集
002	051		センサー交換			-		2024/09/25	編集
001	051	001	回路検査	SV	186	D		2024/09/24	編集

リスト表示部

「交換・修理登録」ボタンをクリックして、メンテナンス履歴を登録します。
 コントローラ選択、対応日範囲設定、対応種別を指定して、メンテナンス履歴を検索できます。
 リスト表示部の「編集」をクリックして、履歴編集画面を表示します。
 履歴編集画面で、各履歴項目を登録します。



メンテナンス履歴表示・編集項目一覧

No	項目	内容	必須/任意
(1)	対応種別	[回路検査] / [安全装置点検・回路検査] / [冷媒センサー交換]	必須
(2)	コントローラ選択	コントローラ番号+系統名(設置場所)	必須
(3)	室外機系統	OCアドレス+系統名(設置場所)	必須
(4)	室内機	ICアドレス+設置場所	任意
(5)	遮断弁アドレス	遮断弁アドレス+設置場所	任意
(6)	接点	接点番号A~H+警報器設置場所	任意
(7)	作業日	カレンダーで作業日を設定	任意
(8)	点検部品	冷媒センサー~機械換気装置の大項目を表示します	
(9)	漏えいセンサー (冷媒センサー)	OK / NG / 対象外 (初期値: 未選択)	任意
(10)	警報装置	OK / NG / 対象外 (初期値: 未選択)	任意
(11)	安全遮断弁	OK / NG / 対象外 (初期値: 未選択)	任意
(12)	機械換気装置	OK / NG / 対象外 (初期値: 未選択)	任意
(13)	点検結果	OK / NG (初期値: 未選択)	任意
(14)	実施者	回路検査の実施者名を記録できます。	任意
(15)	責任者	回路検査の責任者名を記録できます。	任意
(16)	メモ	回路検査に関するメモを記録できます。	任意

- 検査履歴

件数表示

コントローラ選択

遮断弁検査日範囲指定

検索

データダウンロード

130件中、1-100件を表示中

SC番号	種別	室内機/遮断弁アドレス	接点	設置場所	遮断弁検査結果[日時]	警報確認結果[日時]	回路検査
001	SV	193	A		OK[2024/09/27 14:45]	OK[2024/09/27 17:05]	OK 編集
001	IC(SA)	002	-		OK[2024/09/26 16:14]	OK[2024/09/26 16:26]	OK 編集
001	IC(SA)	002	-		OK[2024/09/26 16:00]	OK[2024/09/26 16:01]	OK 編集
001	IC(SA)	002	-		OK[2024/09/25 18:06]	OK[2024/09/25 18:07]	OK 編集
001	IC(SA)	002	-		OK[2024/09/25 17:48]	OK[2024/09/25 17:48]	OK 編集
001	IC(SA)	002	-		検査不可		未完了 編集

リスト表示部

コントローラ選択、遮断弁検査日を指定して、検査履歴を検索できます。
 リスト表示部の「編集」をクリックして、回路検査履歴編集画面を表示します。
 回路検査履歴編集画面で、警報確認結果を登録します。

回路検査履歴編集

SC番号 001

IC/SVアドレス 193

種別 SV

接点 A

設置場所

遮断弁検査結果[日時] OK[2024/09/27 14:45]

警報確認結果 OK

回路検査 OK

登録 キャンセル

警報確認結果
(「OK」または「NG」を選択。)

「登録」ボタン
(選択した値(OKまたはNG)を登録し、
検査履歴画面へ戻る。)

「キャンセル」ボタン
(警報確認結果を登録せずに
検査履歴画面へ戻る。)

リスト表示項目一覧

No	項目	概要																								
(1)	SC 番号	号機情報画面で登録したシステムコントローラの番号を表示します。																								
(2)	種別	<p>構成設定画面で取得した検査対象機器の情報を表示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>表示</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a)</td> <td>IC(SA)</td> <td>室内ユニット (冷媒センサー内蔵) 検査対象が室内ユニット (冷媒センサー内蔵) の場合に IC (SA) を表示します。</td> </tr> <tr> <td>b)</td> <td>SV</td> <td>遮断弁キット 検査対象が、フロンガス警報器の場合に SV を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> フロンガス警報器は遮断弁キット SV に接続されるため、遮断弁アドレスと接点 (A~H) を指定し検査実行してください。 FIT マルチの場合フロンガス警報器用インターフェース (FGAIF) を示します。 </td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 室内ユニット (冷媒センサー内蔵) とフロンガス警報器の併用はできません。併用した場合はフロンガス警報器が優先となります。</p>		表示	意味	a)	IC(SA)	室内ユニット (冷媒センサー内蔵) 検査対象が室内ユニット (冷媒センサー内蔵) の場合に IC (SA) を表示します。	b)	SV	遮断弁キット 検査対象が、フロンガス警報器の場合に SV を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> フロンガス警報器は遮断弁キット SV に接続されるため、遮断弁アドレスと接点 (A~H) を指定し検査実行してください。 FIT マルチの場合フロンガス警報器用インターフェース (FGAIF) を示します。 															
	表示	意味																								
a)	IC(SA)	室内ユニット (冷媒センサー内蔵) 検査対象が室内ユニット (冷媒センサー内蔵) の場合に IC (SA) を表示します。																								
b)	SV	遮断弁キット 検査対象が、フロンガス警報器の場合に SV を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> フロンガス警報器は遮断弁キット SV に接続されるため、遮断弁アドレスと接点 (A~H) を指定し検査実行してください。 FIT マルチの場合フロンガス警報器用インターフェース (FGAIF) を示します。 																								
(3)	室内機 / 遮断弁アドレス	検査対象が種別「IC(SA)」の場合、室内機アドレスを表示します。 検査対象が種別「SV」の場合、遮断弁アドレス (FIT マルチの場合 FGAIF アドレス) を表示します。																								
(4)	接点	フロンガス警報器の接点 (A~H) を表示します。 ※ 室内ユニット (冷媒センサー内蔵) の場合は「-」表示となります。																								
(5)	設置場所	室内ユニット (冷媒センサー内蔵) の場合、室内機の設置場所を表示します。 (号機情報画面で設定した内容を表示します) フロンガス警報器の場合、フロンガス警報器の設置場所を表示します。 (構成設定画面で設定した内容を表示します)																								
(6)	遮断弁検査結果 [日時]	<p>MEL く～る LINK に保存された遮断弁検査結果、検査日時を表示します。 初回 (前回履歴なし) の場合は空欄です。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>表示</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a)</td> <td>OK [年 / 月 / 日]</td> <td>遮断弁キットの動作に問題なく、検査を正常に完了しました。</td> </tr> <tr> <td>b)</td> <td>NG [年 / 月 / 日]</td> <td>遮断弁キットの動作に異常があります。点検・修理を実施してください。</td> </tr> <tr> <td>c)</td> <td>検査不可</td> <td>検査でエラーが発生した場合に表示されます。</td> </tr> <tr> <td>d)</td> <td>(空欄)</td> <td>回路検査対象の機器の電源が入っていること、システムコントローラの電源が入っていること、システムコントローラと MEL く～る LINK のネットワーク接続が正常であることを確認して検査を再実施してください。</td> </tr> <tr> <td>e)</td> <td>通信エラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>f)</td> <td>タイムアウトエラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>g)</td> <td>不明なエラー</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		表示	意味	a)	OK [年 / 月 / 日]	遮断弁キットの動作に問題なく、検査を正常に完了しました。	b)	NG [年 / 月 / 日]	遮断弁キットの動作に異常があります。点検・修理を実施してください。	c)	検査不可	検査でエラーが発生した場合に表示されます。	d)	(空欄)	回路検査対象の機器の電源が入っていること、システムコントローラの電源が入っていること、システムコントローラと MEL く～る LINK のネットワーク接続が正常であることを確認して検査を再実施してください。	e)	通信エラー		f)	タイムアウトエラー		g)	不明なエラー	
	表示	意味																								
a)	OK [年 / 月 / 日]	遮断弁キットの動作に問題なく、検査を正常に完了しました。																								
b)	NG [年 / 月 / 日]	遮断弁キットの動作に異常があります。点検・修理を実施してください。																								
c)	検査不可	検査でエラーが発生した場合に表示されます。																								
d)	(空欄)	回路検査対象の機器の電源が入っていること、システムコントローラの電源が入っていること、システムコントローラと MEL く～る LINK のネットワーク接続が正常であることを確認して検査を再実施してください。																								
e)	通信エラー																									
f)	タイムアウトエラー																									
g)	不明なエラー																									
(7)	警報確認結果 [日時]	<p>ユーザーが入力し MEL く～る LINK に保存された警報確認結果と日時を表示します。 初回 (前回履歴なし) の場合は空欄です。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>表示</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a)</td> <td>OK [年 / 月 / 日]</td> <td>警報装置の鳴動が正常であることを確認した。</td> </tr> <tr> <td>b)</td> <td>NG [年 / 月 / 日]</td> <td>警報装置の鳴動が異常であることを確認した。</td> </tr> <tr> <td>c)</td> <td>(空欄)</td> <td>警報確認結果を登録していない場合、空欄表示となります。</td> </tr> </tbody> </table>		表示	意味	a)	OK [年 / 月 / 日]	警報装置の鳴動が正常であることを確認した。	b)	NG [年 / 月 / 日]	警報装置の鳴動が異常であることを確認した。	c)	(空欄)	警報確認結果を登録していない場合、空欄表示となります。												
	表示	意味																								
a)	OK [年 / 月 / 日]	警報装置の鳴動が正常であることを確認した。																								
b)	NG [年 / 月 / 日]	警報装置の鳴動が異常であることを確認した。																								
c)	(空欄)	警報確認結果を登録していない場合、空欄表示となります。																								

No	項目	概要												
(8)	回路検査	<p>前回の遮断弁検査結果と警報確認結果から前回の回路検査の結果を表示します。</p> <p>遮断弁キットと警報装置の両方の検査が完了（両方とも正常）した場合に完了（OK）表示となります。</p> <table border="1" data-bbox="560 331 1458 564"> <thead> <tr> <th data-bbox="560 331 608 371"></th> <th data-bbox="608 331 719 371">表示</th> <th data-bbox="719 331 1458 371">意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="560 371 608 450">a)</td> <td data-bbox="608 371 719 450">未完了</td> <td data-bbox="719 371 1458 450">遮断弁検査と警報確認の両方、もしくは一方が完了していません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="560 450 608 495">b)</td> <td data-bbox="608 450 719 495">OK</td> <td data-bbox="719 450 1458 495">遮断弁検査と警報確認の両方が正常に完了しています。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="560 495 608 564">c)</td> <td data-bbox="608 495 719 564">NG</td> <td data-bbox="719 495 1458 564">遮断弁検査と警報確認の両方、もしくは一方に異常があります。</td> </tr> </tbody> </table>		表示	意味	a)	未完了	遮断弁検査と警報確認の両方、もしくは一方が完了していません。	b)	OK	遮断弁検査と警報確認の両方が正常に完了しています。	c)	NG	遮断弁検査と警報確認の両方、もしくは一方に異常があります。
	表示	意味												
a)	未完了	遮断弁検査と警報確認の両方、もしくは一方が完了していません。												
b)	OK	遮断弁検査と警報確認の両方が正常に完了しています。												
c)	NG	遮断弁検査と警報確認の両方、もしくは一方に異常があります。												

[4] 回路検査 (点検)

遮断弁キット、AE-CZJ, EW-CZJのプザー（警報装置）の点検を実行し、回路検査の結果を表示できます。室内ユニット（冷媒センサー内蔵）および遮断弁キットを選択し、動作確認を実施します。

回路検査が異常となった場合の対応は、空調機器の施工/サービスマニュアルをご参照ください。

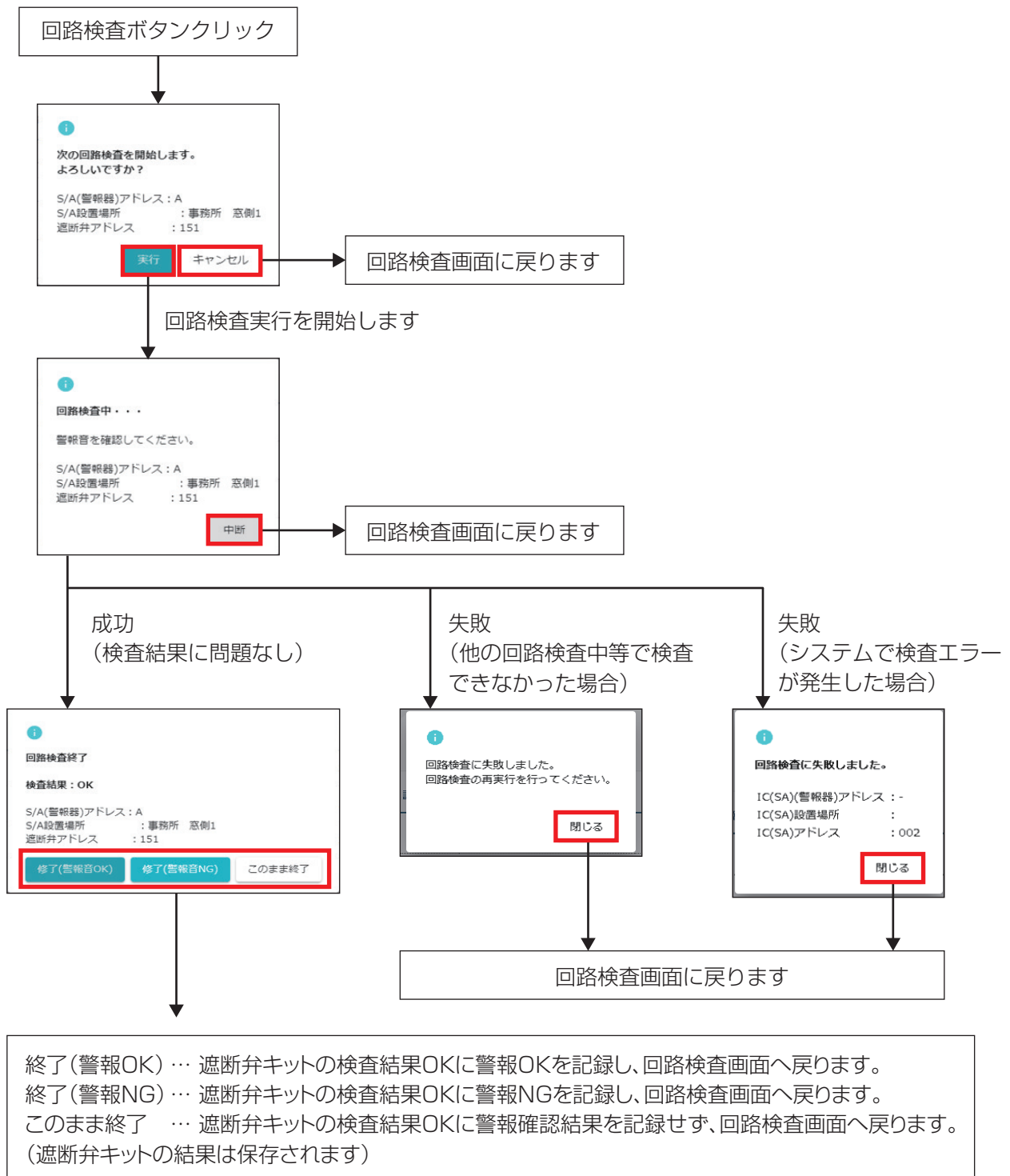


リスト表示項目一覧

No	項目	概要									
(1)	室外機アドレス	構成設定画面で取得した回路検査対象の室外機 (OC) アドレスを表示します。									
(2)	種別	<p>構成設定画面で取得した検査対象機器の情報を表示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>表示</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a)</td> <td>IC(SA)</td> <td>室内ユニット (冷媒センサー内蔵) 検査対象が室内ユニット (冷媒センサー内蔵) の場合に IC (SA) を表示します。</td> </tr> <tr> <td>b)</td> <td>SV</td> <td>遮断弁キット 検査対象が、フロンガス警報器の場合に SV を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> フロンガス警報器は遮断弁キット SV に接続され、遮断弁アドレスと接点 (A~H) を指定し検査実行する必要があるため。 FIT マルチの場合フロンガス警報器用インターフェース (FGAIF) を示す。 </td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 室内ユニット (冷媒センサー内蔵) とフロンガス警報器の併用はできません。併用した場合はフロンガス警報器が優先となります。</p>		表示	意味	a)	IC(SA)	室内ユニット (冷媒センサー内蔵) 検査対象が室内ユニット (冷媒センサー内蔵) の場合に IC (SA) を表示します。	b)	SV	遮断弁キット 検査対象が、フロンガス警報器の場合に SV を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> フロンガス警報器は遮断弁キット SV に接続され、遮断弁アドレスと接点 (A~H) を指定し検査実行する必要があるため。 FIT マルチの場合フロンガス警報器用インターフェース (FGAIF) を示す。
	表示	意味									
a)	IC(SA)	室内ユニット (冷媒センサー内蔵) 検査対象が室内ユニット (冷媒センサー内蔵) の場合に IC (SA) を表示します。									
b)	SV	遮断弁キット 検査対象が、フロンガス警報器の場合に SV を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> フロンガス警報器は遮断弁キット SV に接続され、遮断弁アドレスと接点 (A~H) を指定し検査実行する必要があるため。 FIT マルチの場合フロンガス警報器用インターフェース (FGAIF) を示す。 									
(3)	室内機 / 遮断弁アドレス	検査対象が種別「IC(SA)」の場合、室内機アドレスを表示します。 検査対象が種別「SV」の場合、遮断弁アドレス (FIT マルチの場合 FGAIF アドレス) を表示します。									
(4)	接点	フロンガス警報器の接点 (A~H) を表示します。 ※ 室内ユニット (冷媒センサー内蔵) の場合は「-」表示となります。									
(5)	設置場所	室内ユニット (冷媒センサー内蔵) の場合、室内機の設置場所を表示します。 (号機情報画面で設定した内容を表示します) フロンガス警報器の場合、フロンガス警報器の設置場所を表示します。 (構成設定画面で設定した内容を表示します)									

No	項目	概要																								
(6)	遮断弁検査結果 [日時]	<p>MEL く～る LINK に保存された遮断弁検査結果、検査日時を表示します。初回 (前回履歴なし) の場合は空欄です。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>表示</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a)</td> <td>OK [年/月/日]</td> <td>遮断弁キットの動作に問題なく、検査を正常に完了しました。</td> </tr> <tr> <td>b)</td> <td>NG [年/月/日]</td> <td>遮断弁キットの動作に異常があります。点検・修理を実施してください。</td> </tr> <tr> <td>c)</td> <td>検査不可</td> <td>検査でエラーが発生した場合に表示されます。</td> </tr> <tr> <td>d)</td> <td>(空欄)</td> <td>回路検査対象の機器の電源が入っていること、システムコントローラの電源が入っていること、システムコントローラと MEL く～る LINK のネットワーク接続が正常であることを確認して検査を再実施してください。</td> </tr> <tr> <td>e)</td> <td>通信エラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>f)</td> <td>タイムアウトエラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>g)</td> <td>不明なエラー</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		表示	意味	a)	OK [年/月/日]	遮断弁キットの動作に問題なく、検査を正常に完了しました。	b)	NG [年/月/日]	遮断弁キットの動作に異常があります。点検・修理を実施してください。	c)	検査不可	検査でエラーが発生した場合に表示されます。	d)	(空欄)	回路検査対象の機器の電源が入っていること、システムコントローラの電源が入っていること、システムコントローラと MEL く～る LINK のネットワーク接続が正常であることを確認して検査を再実施してください。	e)	通信エラー		f)	タイムアウトエラー		g)	不明なエラー	
	表示	意味																								
a)	OK [年/月/日]	遮断弁キットの動作に問題なく、検査を正常に完了しました。																								
b)	NG [年/月/日]	遮断弁キットの動作に異常があります。点検・修理を実施してください。																								
c)	検査不可	検査でエラーが発生した場合に表示されます。																								
d)	(空欄)	回路検査対象の機器の電源が入っていること、システムコントローラの電源が入っていること、システムコントローラと MEL く～る LINK のネットワーク接続が正常であることを確認して検査を再実施してください。																								
e)	通信エラー																									
f)	タイムアウトエラー																									
g)	不明なエラー																									
(7)	警報確認結果 [日時]	<p>ユーザーが入力し MEL く～る LINK に保存された警報確認結果と日時を表示します。初回 (前回履歴なし) の場合は空欄です。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>表示</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a)</td> <td>OK [年/月/日]</td> <td>警報装置の鳴動が正常であることを確認した。</td> </tr> <tr> <td>b)</td> <td>NG [年/月/日]</td> <td>警報装置の鳴動が異常であることを確認した。</td> </tr> <tr> <td>c)</td> <td>(空欄)</td> <td>警報確認結果を登録していない場合、空欄表示となります。</td> </tr> </tbody> </table>		表示	意味	a)	OK [年/月/日]	警報装置の鳴動が正常であることを確認した。	b)	NG [年/月/日]	警報装置の鳴動が異常であることを確認した。	c)	(空欄)	警報確認結果を登録していない場合、空欄表示となります。												
	表示	意味																								
a)	OK [年/月/日]	警報装置の鳴動が正常であることを確認した。																								
b)	NG [年/月/日]	警報装置の鳴動が異常であることを確認した。																								
c)	(空欄)	警報確認結果を登録していない場合、空欄表示となります。																								
(8)	回路検査	<p>前回の遮断弁検査結果と警報確認結果から前回の回路検査の結果を表示します。遮断弁キットと警報装置の両方の検査が完了 (両方とも正常) した場合に完了 (OK) 表示となります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>表示</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a)</td> <td>未完了</td> <td>遮断弁検査と警報確認の両方、もしくは一方が完了していません。</td> </tr> <tr> <td>b)</td> <td>OK</td> <td>遮断弁検査と警報確認の両方が正常に完了しています。</td> </tr> <tr> <td>c)</td> <td>NG</td> <td>遮断弁検査と警報確認の両方、もしくは一方に異常があります。</td> </tr> </tbody> </table>		表示	意味	a)	未完了	遮断弁検査と警報確認の両方、もしくは一方が完了していません。	b)	OK	遮断弁検査と警報確認の両方が正常に完了しています。	c)	NG	遮断弁検査と警報確認の両方、もしくは一方に異常があります。												
	表示	意味																								
a)	未完了	遮断弁検査と警報確認の両方、もしくは一方が完了していません。																								
b)	OK	遮断弁検査と警報確認の両方が正常に完了しています。																								
c)	NG	遮断弁検査と警報確認の両方、もしくは一方に異常があります。																								
(9)	回路検査 (リンク)	<p>回路検査実行および検査中の状態を表示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>表示</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a)</td> <td>「回路検査」 (リンクあり)</td> <td>回路検査を実行可能です。</td> </tr> <tr> <td>b)</td> <td>「検査中」 (リンクあり)</td> <td>回路検査の完了待ちです。</td> </tr> <tr> <td>c)</td> <td>「検査中」 (リンクなし)</td> <td>IC(SA), S/A 回路検査を実行中のため、回路検査を実行できません。*</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 同一システムコントローラで回路検査を実行できる台数は 1 台のみのため、既に回路検査を実行している場合に表示されます。</p>		表示	意味	a)	「回路検査」 (リンクあり)	回路検査を実行可能です。	b)	「検査中」 (リンクあり)	回路検査の完了待ちです。	c)	「検査中」 (リンクなし)	IC(SA), S/A 回路検査を実行中のため、回路検査を実行できません。*												
	表示	意味																								
a)	「回路検査」 (リンクあり)	回路検査を実行可能です。																								
b)	「検査中」 (リンクあり)	回路検査の完了待ちです。																								
c)	「検査中」 (リンクなし)	IC(SA), S/A 回路検査を実行中のため、回路検査を実行できません。*																								

回路検査実行ボタンをクリックし、回路検査を実行します。



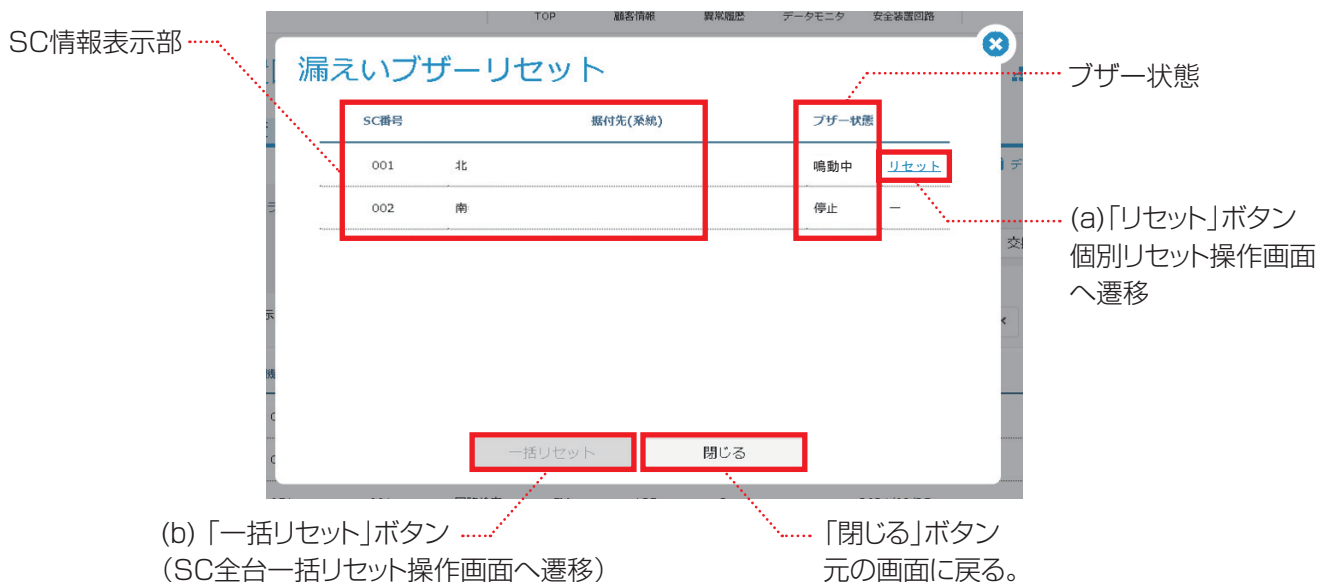
- 漏えいブザーリセット

回路点検中に警報装置のブザー鳴動を停止する場合、漏えいブザーリセットを行ってください。

選択した物件のAE-CZJ/EW-CZJのブザー鳴動状態を取得し、表示できます。

ブザー鳴動中状態のAE-CZJ/EW-CZJのブザーを個別に停止できます。

また、選択した物件の全てのAE-CZJ/EW-CZJに対しブザーを一括で停止できます。



お知らせ

- MAリモコン (PAR-46MA) 経由で回路検査を実施した場合、ブザーは自動 (約 10 秒) で停止しますが、MEL く～る LINK で AE-CZJ, EW-CZJ のブザーを鳴動させた場合、ブザーは自動停止しないため、AE-CZJ の画面操作もしくは MEL く～る LINK 画面操作で停止してください。AE-CZJ の画面操作は、「1-4. 関連資料 [2] (10 ページ)」を参照してください。
- 警報装置の鳴動は現地で確認を行ってください。
- 1 つのシステムコントローラ内で同時に複数の室内ユニット (またはフロンガス警報器) の回路検査を行うことはできません。
- 回路検査を実施する際、回路検査に伴い異常 (点検コード: 0910/0911/0912) を検知し、異常が発生した際の通知先メールアドレスへ通知されます。回路検査実施中を示すものであり、故障ではありません。
- MA リモコン (PAR-46MA) で実施した回路検査の結果は、検査履歴に自動登録されません。手動で登録してください。

[5] データダウンロード

各画面の「データダウンロード」ボタンより、表示データを CSV ファイルで出力することができます。

2-9. 機器名リスト

ユニットまたはコントローラ		記号
室内 ユニット	ビル用マルチエアコン 設備用パッケージエアコン スリムKシリーズ	IC
	冷媒センサー内蔵	IC (SA)
	A制御スリム (M-NET 接続用アダプタ・M-NET 接続用インターフェースによる接 続)	AIC
	ルームエアコン・ハウジングエア コン	RAC、 HAC
換気 送風機	業務用ロスナイ (フリープラン対応形)	LC
	設備用ロスナイ (フリープラン対応形)	
	業務用単独加湿ユニット (フリープラン対応形)	
	換気・ロスナイ	
	エア搬送ファン	
	外気処理ユニット (加熱加湿付きロスナイ)	属性IC (設定)
	属性FU (設定)	FU
室内 ユニット	電算用パッケージエアコン	IC
システム コンポー ネント	汎用DC	DC
	計量MC	MC-P
	環境MC	MC-A

ユニットまたはコントローラ		記号	
室外 ユニット	ビル用マルチエアコン	親機	OC
		子機	OS
	設備用パッケージ エアコン	親機	OC
		子機	OS
	電算用パッケージ エアコン	親機	OC
		子機	OS
分流コントローラ		親機	BC
		子機	BS
遮断弁キット			SV
システム コント ローラ	遠隔監視用デバイス (MCC-50J) 空調冷熱総合管理システム (AE-CZJ, EW-CZJ)		MCC、 AE、 EW
	システムリモコン		AT
	ME リモコン	主リモコン	ME
従リモコン			
MAリモコン			MA
DT-R	系統代表機(メイン)(かつ同時運転 グループ(メイン))		CH
	系統代表機(メイン)に接続された 同時運転グループ子機(メイン)		
	同時運転グループ代表機(メイン)		
	同時運転グループに接続された子 機(メイン)		CL
	系統代表機(サブ)同時運転グルー プ代表機(サブ)		
	子機(サブ)		
ファンコイルユニット(FCU)			IC
ホットウォーターヒートポンプ(HWHP)			CE
フロンガス警報器用インターフェース			FGAIF

※ 本表のすべての機器が表示されるわけではありません。

※ MEL く～る LINK で監視可能な機器はホームページでご確認ください。

※ 機種により、一部表示の異なる場合があります。

※ 号機情報ツリーは、AE-CZJ, EW-CZJ を利用の場合は AE, EW 表示、MCC-50J を利用の場合は MCC 表示になります。

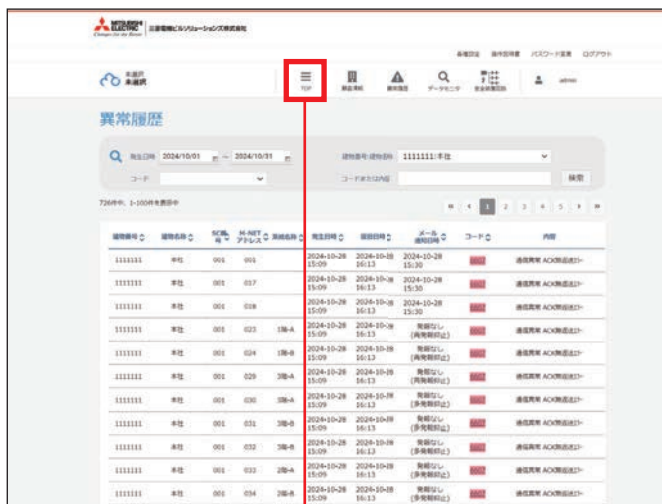
2-10. その他

[1] 各種ボタン

(1) TOP ボタン



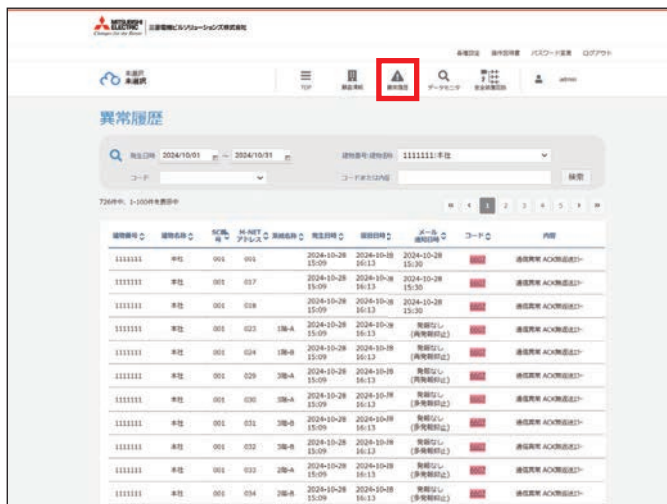
「TOP画面」に遷移します。



(2) 異常履歴ボタン



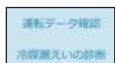
「異常履歴」画面に遷移します。



(3) データモニタボタン



「運転データ確認」・「冷媒漏えいの診断」を選択します。

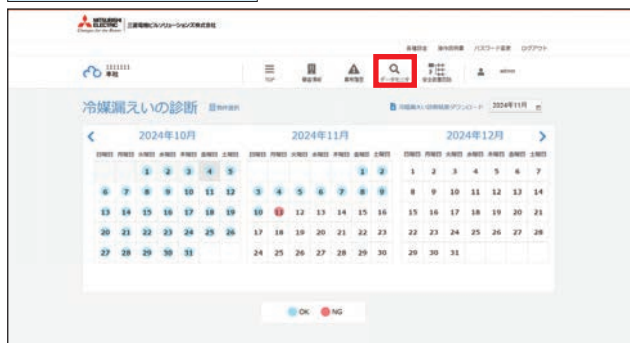


のいずれかを選択して、以下の画面にそれぞれ遷移します。

運転データ確認



冷媒漏えいの診断



[2] 通知先設定方法

手順

1. MELく〜るLINK「TOP画面」右上の[各種設定]をクリックする。



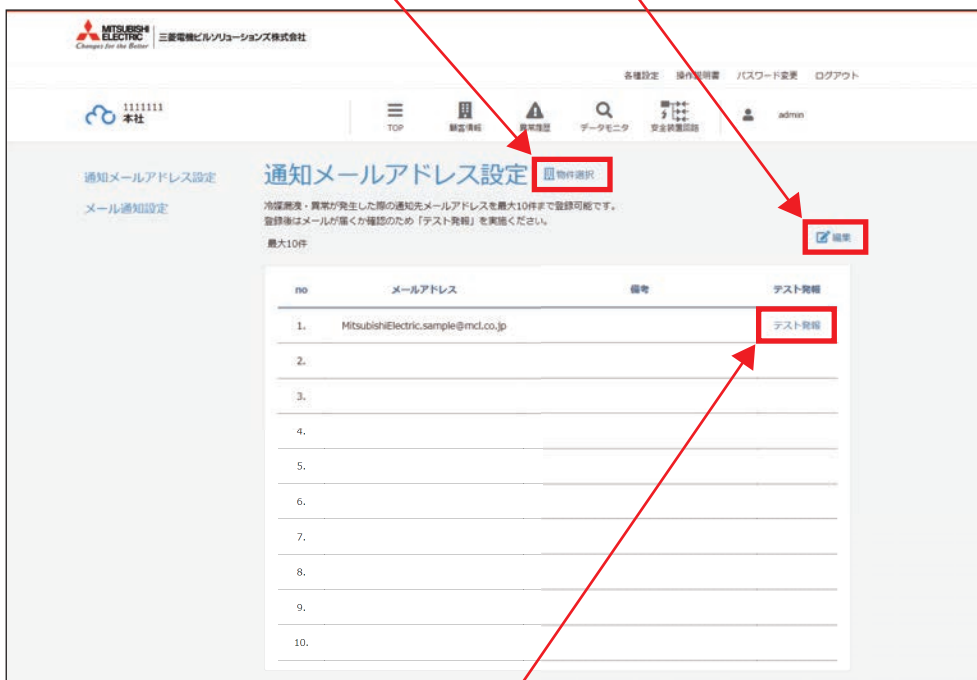
2. 「物件選択-設定」画面に遷移するので、[選択]をクリックする。



3. 「通知メールアドレス設定」画面に遷移します
メールアドレスは10件まで設定可能です。

①「物件選択 - 設定」画面へ遷移します。


②「通知メールアドレス設定」画面へ遷移します。



③登録したメールアドレスにテストメールを発信します。

① [**物件選択**] をクリックすると、「物件選択 - 設定」画面へ遷移します。



- ② [] をクリックすると、メールアドレス登録画面が開きます。

冷媒漏えい・異常が発生した際の通知先メールアドレスを最大10件まで登録可能です。
メールアドレス欄にメールアドレスを入力し、設定ボタンをクリックして登録してください。
登録後は、メールが届くか確認のため「テスト発報」を実施してください。



通知メールアドレス設定

最大10件まで登録可能です。登録後、「テスト発報」を実施ください。

no	メールアドレス	備考
1.	MitsubishiElectric.sample@mcl.co.jp	
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		

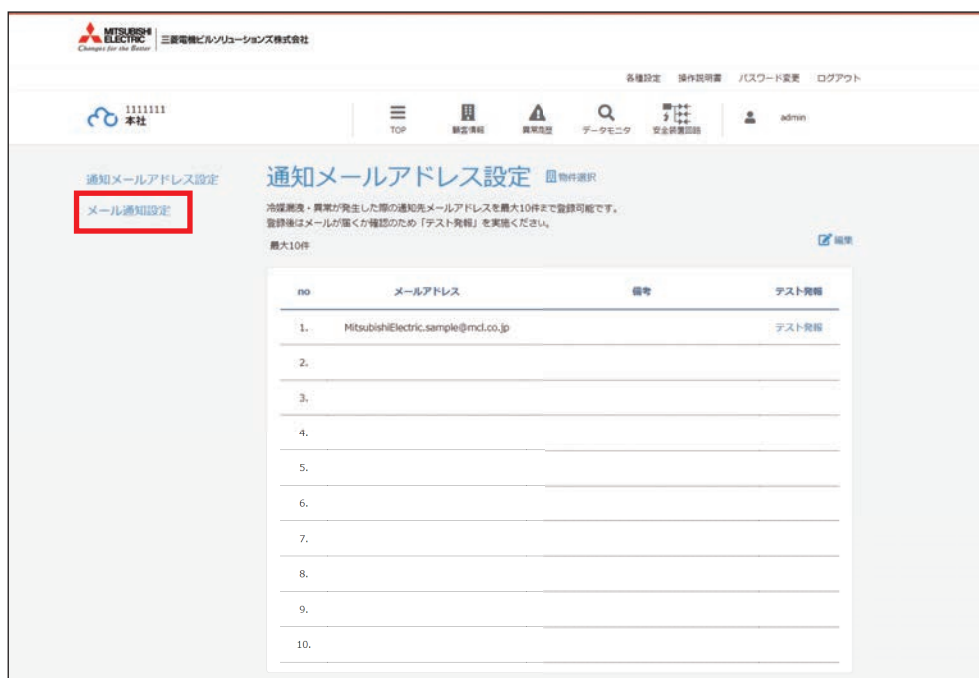
設定 キャンセル

- ③ [] をクリックすると、メールアドレス登録後、メールが正常に届くか確認できます。

4. メール通知間隔を設定する

「通知メールアドレス設定」画面で [] をクリックすると、

「冷媒漏えい診断結果メール通知間隔設定」画面へ遷移します。



通知メールアドレス設定

通知メールアドレス設定

冷媒漏えい・異常が発生した際の通知先メールアドレスを最大10件まで登録可能です。
登録後はメールが届くか確認のため「テスト発報」を実施ください。

最大10件

no	メールアドレス	備考	テスト発報
1.	MitsubishiElectric.sample@mcl.co.jp		テスト発報
2.			
3.			
4.			
5.			
6.			
7.			
8.			
9.			
10.			

2. 使用方法

「冷媒漏えい診断結果メール通知間隔設定」画面には現在の通知間隔が表示されます。

通知間隔を変更する場合は [ 編集] をクリックします。



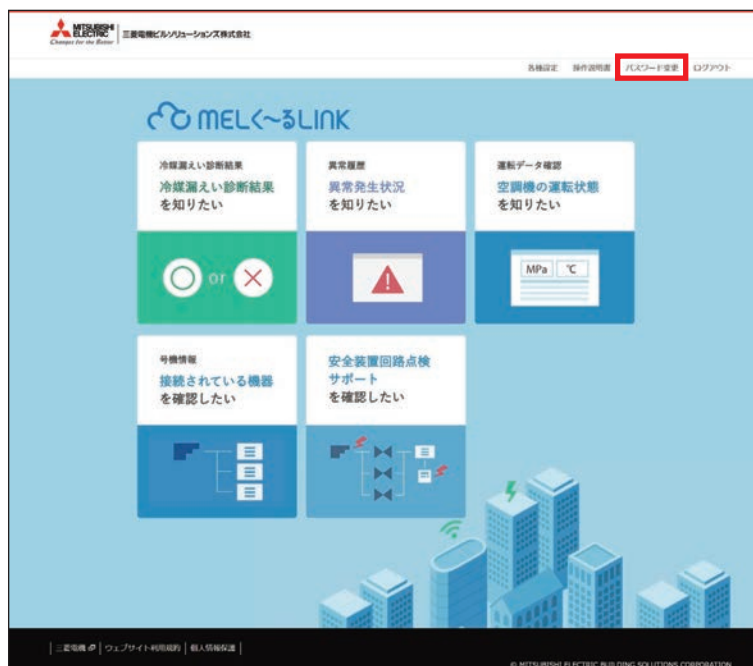
「冷媒漏えい診断結果メール通知間隔設定」ダイアログが表示されるので、設定したい通知間隔にチェックを入れて選択し、[設定] ボタンをクリックします。



[3] パスワード変更

手順

1. MELく〜るLINK「TOP画面」右上の[パスワード変更]をクリックする。



2. 「パスワード変更」画面に遷移するので、[選択]をクリックする。

現在のパスワード、新しいパスワード、新しいパスワードの確認を入力後、「パスワードを変更」をクリックします。

パスワード変更

ログインパスワードを変更します。

現在のログインパスワードを入力した上で、新しく登録するログインパスワードを入力し、「パスワードを変更」をクリックしてください。

現在のパスワード *

新しいパスワード *

新しいパスワードの確認 *

パスワードを変更

※アルファベットは、大文字・小文字が判別されます。
 ※パスワードはIDと同じ文字列を含まず、英大文字・小文字と数字が混ざった8文字以上のものである必要があります。
 ※変更が完了するまでに、クリック後1分弱、時間がかかります。しばらく何も操作せずにお待ちください。

パスワード変更でエラーが表示された場合、メッセージを確認して再入力してください。

パスワード変更のエラーメッセージと対処内容

エラーメッセージ	対処内容
古いパスワードのフィールドが空であり、無効です。	現在のパスワードを入力してください。
新しいパスワードのフィールドが空であり、無効です。	新しいパスワードを入力してください。
新しいパスワードは、古いパスワードとは別のものにする必要があります。	現在のパスワードと新しいパスワードを変えて入力してください。
新しいパスワードが長さのルールに従っていません。	8文字以上20文字以内で登録してください。
新しいパスワードには大文字が必要です。	新しいパスワードに大文字を入れて入力してください。
新しいパスワードには小文字が必要です。	新しいパスワードに小文字を入れて入力してください。
2つのパスワード入力的一致しません。	新しい2つのパスワードが異なります。もう一度入力してください。

3. 定期点検

安全に機器をご利用いただくために定期点検を実施してください。

- R32 冷媒の検知器（空調機器に搭載の冷媒センサー）と別置の検知警報器は設置から5年毎に交換が必要です。交換しないまま使用を続けた場合、警報装置が正常に作動せず、事故や火災の原因となる可能性があります。
- 安全装置回路点検（JRA GL-16 で求められる回路検査）は、1年に1回以上実施し、正常に安全装置が動作することを確認してください。点検を実施せず使用を続けた場合、安全装置が正常に作動せず、事故や火災の原因となる可能性があります。
- 機器の特性上、JRA GL-17:2021 で規定された試験条件以外では、診断の性能が低下する場合があります。特に、停止状態が長期継続する場合には、機器点検の実施を検討してください。

4.仕様

当社サービス「MELく～るLINK」の動作を確認したPC、タブレット端末の対応OS、ブラウザ、機種を下記に示します。

【PC】

	項目	要件
1	CPU	Intel Core i5-7200U CPU @ 2.50GHz 2.71 GHz
2	メモリ	8.00 GB (7.88 GB 使用可能)
3	画面解像度	1,024 × 768 以上
4	OS	Microsoft Windows 11 Ver:10.0.22621
5	ブラウザ	Microsoft Edge Ver.121.0.2277.128

【タブレット】

	項目	要件
1	機種	iPad 第5世代
2	OS	iOS 15
3	ブラウザ	Safari 15

5. 修理を依頼する前に

まず、下表にしたがってお調べください。なお、AE-CZJ, EW-CZJ, MCC-50Jに異常があるときは、使用を中止し、必ず配線用遮断器（ブレーカー）を切（OFF）にしてから、お買上げの販売店（工事店・サービス店）に連絡してください。

現象		原因の確認	処置方法
1	MELく～るLINKにログインできない	ユーザー名、パスワードを間違えている。	契約時に通知されるMELく～るLINKログイン用のユーザー名、パスワードを正しく入力してください。
2	ログインユーザー名を忘れた	—	お買上げの販売店へ再発行を依頼してください。再発行には数日かかる場合があります。
3	ログインパスワードを忘れた ログインパスワードが分からない	—	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名がメールアドレスの場合は、MELく～るLINKログイン画面で「パスワードを忘れた方」をクリックし、パスワード再発行画面からパスワード初期化を行ってください。 ユーザー名がメールアドレスでない場合は、契約した販売店に問い合わせてください。
4	パスワードを連続して間違えたらログインできなくなった	ユーザー名にロックがかかっている。	パスワードを連続して間違えると一時的にロックがかかります。一定時間経過後、解除されますので、正しいパスワードでログインしてください。
5	トップページに契約したサービスのメニューが表示されない	—	契約した販売店に契約内容を問い合わせてください。
6	画面が表示されない。	ボタンが押せない。	表示倍率を確認してください（100%にしてください）。
		スクロールができない。	表示倍率を確認してください（100%にしてください）。
7	冷媒漏えい診断結果/異常発生状況/空調機の運転状態が確認できない。	「こちら機能は未契約の機能につき、ご利用頂けません。」の文言が表示されている。	お買上げの販売店に問い合わせしてください。
8	日付に色が付いていない場合（無色）の判定が続く	未契約の期間や、停電、機器の故障等により対象空調機器の運転データを正常に取得できなかった場合は、日付に色が付かない状態（無色）が継続する場合があります。	お買上げの販売店に問い合わせしてください。

5. 修理を依頼する前に

	現象	原因の確認	処置方法
9	冷媒漏えい診断により、NGが発生した。	冷媒漏えいの可能性を検知した。 空調機初期設置時に、冷媒充てん不足があった。 空調機が故障した。	冷媒漏えいの疑いを検知した場合は、業務用冷凍空調機器の封入冷媒量適正判定を実施ください。 (確認方法) 全室内機をONにして、冷房運転を行い、吐出温度/吸入SH/SCの値で冷媒量の適正判定を実施してください。本サービスの契約者様にて、本判定が難しい場合は、お買い上げの販売店(工事店・サービス店)に点検を依頼してください。 (判定の結果：冷媒量の不足が疑われない場合) 空調機の運転条件により、システムでの診断と空調機の冷媒量に矛盾が生じていると想定します。 1週間続けて漏えいの疑いを検知するなどの場合は、お買い上げの販売店(工事店・サービス店)を通じて、冷熱システム製作所へ連絡ください。 (判定の結果：上記に該当しなかった場合) 封入冷媒量が不足している、もしくは漏えいが発生していると考えられます。 通常の業務フローに従って、対応ください。
10	メールが発報されない。	メールアドレスが間違っている。	送信先メールアドレスを確認してください。

6. 法令関係の表示

6-1. 関連ガイドラインについて

本書で参照する冷媒漏えい診断、安全装置に関するガイドラインを示します。

- [1] JRA GL-17, 「業務用冷凍空調機器の常時監視によるフロン類の漏えい検知システムガイドライン」, 一般社団法人 日本冷凍空調工業会, 2021年5月24日制定
- [2] JRA GL-16, 「微燃性(A2L)冷媒を使用した業務用エアコンの冷媒漏えい時の安全確保のための施設ガイドライン」, 一般社団法人 日本冷凍空調工業会, 2016年9月26日制定(2023年9月25日改正)
- [3] JRA GL-20, 「特定不活性ガスを使用した冷媒設備の冷媒ガスが漏えいしたときの燃焼を防止するための適切な措置」, 一般社団法人 日本冷凍空調工業会, 2016年9月26日制定(2022年5月23日改正)
- [4] JRA4070, 「微燃性(A2L)冷媒を使用した業務用エアコンの冷媒漏えい時の安全機能要求事項」, 一般社団法人 日本冷凍空調工業会, 2016年9月26日制定(2023年9月25日改正)
- [5] JRA4068, 「冷凍空調機器に関する冷媒漏えい検知警報器要求事項」, 一般社団法人 日本冷凍空調工業会, 2016年5月23日制定(2023年3月20日改正)

6-2. 商標、登録商標について

- Intel,Core は、Intel Corporationの米国およびその他の国における商標です。
- IOS は、米国およびその他の国における Cisco Systems,Inc.の商標または登録商標です。
- iOS は、Apple Inc.のOS名称であり、ライセンス許諾を受けて使用されています。
- iPad, Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- Microsoft, Windows, Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- MEL く～る LINK は、三菱電機株式会社の登録商標です。
- その他、文中の社名、商品名などは各社の商標または登録商標である場合があります。

7. 保証とアフターサービス

保証とアフターサービスについては、本章のほかAE-CZJ, EW-CZJ, MCC-50J 据付工事説明書を参照してください。

7-1. 本サービスの提供

- 本サービスは、三菱電機ビルソリューションズ株式会社に委託して実施しています。本サービスの利用には三菱電機ビルソリューションズ株式会社と「インターネット情報提供サービス」の契約が必要です。
契約に関しては、お買い上げの販売店までお問合せください。

7-2. お問い合わせ

- ご不明な点は、まずお買い上げの販売店（工事店・サービス店）にお問い合わせください。お買い上げの販売店（工事店・サービス店）にご依頼できない場合は「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にお問い合わせください。
（所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。）

お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容に記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検

●長年ご使用の空調機器の点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水がもれる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

事故防止のため、配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にし、販売店に点検・修理をご相談ください。

便利メモ

お買上げ販売店名

電話番号

ご不明な点や修理に関しては、お買上げの販売店（工事店・サービス店）か「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（ユニット付属の別紙）に記載の連絡先にご相談ください。

三菱電機株式会社

本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3（東京ビル）
冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2024年12月作成
WT10406X05